

開設授業科目

令和6年度以降入学者対象科目一覧

(1～2年次対象科目)

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	1H100	修学基礎A	1	1	必修	1	月2 講堂 (学部 合同) その他	1年担任 他	講演及び実習などを通して、大学生活に適応するために必要な知識や習慣を修得する。	鍼灸対象
	1H101	修学基礎A	1	1	必修	1	月2 講堂 (学部 合同) その他	1年担任 他	講演及び実習などを通して、大学生活に適応するために必要な知識や習慣を修得する。	理学対象
	1H102	修学基礎A	1	1	必修	1	月2 月5 講堂 (学部 合同) その他	1年担任 他	講演及び実習などを通して、大学生活に適応するために必要な知識や習慣を修得する。	情報対象
	1H110	修学基礎B	1	1	必修	通年	1学期 火2 集中 2学期 火4 集中 237他	鍼灸1年担任 鮎澤聡 石崎直人 近藤宏 福島正也 笹岡知子 成島朋美 非) 遠藤卓郎	大学の学科・専攻の学習に円滑に適応するための生活や学習の心構え、学習環境の理解や利用方法。また、学科・専攻の教育理念を講義およびグループワークを通して深く理解し、自らのキャリア・デザインをスタートさせる。	鍼灸対象

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合 教養 教育 科目	1H111	修学基礎B	1	1	必修	2	月3 臨床	酒井俊 三浦美佐 井口正樹 中村直子 松井康 佐久間亨 杉田洋介 木村健作 ◎小山真吾	本学の専攻の学習に円滑に適応するための生活や学習の心構え， 学習環境の理解や利用方法。また，専攻の教育理念を理解し，自らの キャリア・デザインをスタートさせる。	理学対象
	1H112	修学基礎B	1	1	必修	2	水4 411	情報1年担任 非) 稲垣吉彦 非) 永井信幸	大学の学科・専攻の学習に円滑に適応するための生活や学習の心 構え，学習環境の理解や利用方法に習熟する。 また，実社会の様々な情報を自分の糧とし，自らのキャリア・デザ インをスタートさせる。	情報対象

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	1H200	健康と保健科学	2	1	鍼灸必修 理学選択 情報選択	2	木5 316	◎鮎澤聡 石崎直人 加藤一夫 白岩伸子 近藤宏 志村まゆら 福島正也 笹岡知子 松田えりか 中村直子 酒井俊 三浦美佐 井口正樹 佐久間亨 松井康	鍼灸手技療法の特徴は未病を治すというところにある。未病を治すとは具体的にどんなことなのか鍼灸手技療法の基本的な考え方等について学習する。また、健康管理・増進およびリハビリテーション、介護予防等について社会医学的背景をふまえながら学習する。さらに、すべての生き物の生命現象を、従来の生物学・医学にとらわれることなく学習する。	
	1H220	情報と社会環境	2	1	鍼灸選択 理学選択 情報必修	2	月2 講堂 536	堀江則之	情報通信技術（ICT）の進歩が、経済、経営、産業、政策、地方自治、生活、コミュニケーション、法律、国際関係などにもたらしている変化を知り、持続可能な情報社会について展望する講義である。「情報」と「社会環境」をキーワードとして、情報社会は、私たちに何をもたらし、今後はどのように変化していくのであろうか。具体的かつ分かりやすい事例を適時紹介していくとともに、授業ごとに課す課題に取り組むことによって、情報通信技術が情報社会に与える影響について理解を深める。	
	1H300	放送大学開設科目A	2	1	選択	2				令和7年度開講せず
	1H310	放送大学開設科目B	2	1	選択	2				令和7年度開講せず

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	1H400	心理学	2	1	選択	1	木3 316 Teams	竹下浩	私達は、外界をどのように「感じて」いるのでしょうか。「学び」「感情」「やる気」の仕組みはどうなっているのでしょうか。私たちの「個性」は、どのように形作られるのでしょうか。社会と関わりながら、どのように発達していくのでしょうか。この授業では、これらについて学びます。	
	1H410	哲学	2	1	選択	1	集中 316	非) 川井博義	私たちは普段「正しい」「善い」「美しい」という言葉を何気なく使う。では、どうしてそう言えるのだろうか。その答えは、世界や人間をどのようにとらえるか、人生をどのように考えるのかという、ものごとの見方や考え方によって変わる。本科目では、西洋の古代～現代、東洋・日本の哲学・思想を学ぶ。それは単なる知識の習得ではなく、先人との対話である。また、様々な哲学的テーマをめぐり、履修者が意見・感想を示すことで、仲間との対話も行う。このように、先人や仲間との対話を通じて、自分自身や現在の常識を問い直すことができることが、本科目の特色である。それは、物事の本質や根本を問う姿勢を身につけることにもつながる。同時に、現代を生きる私たちの問題を発見し、その解決への糸口を模索する実践的経験にもなる。	詳細は後日掲示
	1H420	社会福祉学	2	1	選択	1	集中 316	非) 佐藤将朗	社会福祉の理念や法体系、内容、方法に関する知識と技術の習得を目標とする。授業は講義を中心とするが、学習項目の性質により、随時演習及び集団での討論も行うものとする。	詳細は後日掲示

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合 教養 教育 科目	1H430	日本国憲法	2	1	選択	2	集中 別途掲示	非) 岡田大助	憲法は、つくるべき社会の設計図として制定される一国の最高法規であり、国家・社会を維持・発展させていくための見取り図の役割を果たすものである。それゆえ、日本国憲法を学習することは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が日本国憲法に対する輪郭を構築し、基本概念を理解し、そして将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	教職履修者は必修 詳細は後日掲示
	1H440	数学基礎	2	1	鍼灸 選択 理学 選択 情報 必修	1	月1 316	田中仁 垣野内将貴	数学を使う学修の基礎となる知識の習得とその取り扱いのスキルに習熟する。学修する内容の前半は、基本的な数と式の計算，簡単な方程式と不等式，図形に関すること，また簡単な関数とそのグラフなどを学修する。後半はより進んだ内容を理解するために，数列と級数（数列の和），極限，ベクトルなどの概念と取り扱いを含む内容を学修する。	
	1H450	数学基礎演習	1	1	選択	1				令和7年度開講 せず

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合 教養 教育 科目	1H460	物理学概論	2	1	選択	2	水5 316	非) 柳澤孝	物理の基礎である力学，運動と熱・電磁気について，学習する。 物理に数式は重要であるが，数式よりも，その基礎的な概念を習得 する方が重要である。必要に応じて他の分野の知識を補いながら学 習する。 場合によって，実験を実施する。	
	1H470	化学概論	2	1	選択	1	木1 316	非) 島田茂	化学は、物質の性質、構造、組成、変化などを研究する自然科学 の一分野であり、身の回りにある様々な物質、生命現象、環境など とも深く関係している。 原子、元素、結合、分子、無機・有機物質、反応、種々の有機化合 物、生命現象との関わり、プラスチック、環境との関わり等につい て学習する。	
	1H480	生物学概論	2	1	鍼灸 必修 理学 選択 情報 選択	1	金4 316	加藤一夫 志村まゆら	・細胞の構造と機能の基礎を解説し，1個の細胞（受精卵）がどのよ うに個体を形成するのかその発生の仕組みを解説する。 ・動物が持つ生体の維持や環境変化に対して適切に反応（行動）する ための仕組みについて学習する。 ・生物の遺伝や生命現象を物質レベルで理解するために，遺伝情報の 元となるゲノムや遺伝子の構造および働きについて解説する。 なお，本講義は，高校で生物を履修していない学生が解剖学・生理 学・衛生学などの基礎医学系の科目を理解するための基礎的な知識を 重点に解説する。	

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
外国語科目	3H100	英語1	1	1	必修	1	[Regular] 火4 331 [Advanced] 水3 331	小林ゆきの	これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。最初の数回では、英語と日本語の構造的、意味的、音声的な違いにフォーカスを当て、英語の基本となる語順、音素、リズムを学修する。それらをもとに、科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて、構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習を行い、アウトプット力を強化していく。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	鍼灸対象
	3H101	英語1	1	1	必修	1	[Regular] 金2 331 [Advanced] 水3 331	小林ゆきの	これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。最初の数回では、英語と日本語の構造的、意味的、音声的な違いにフォーカスを当て、英語の基本となる語順、音素、リズムを学修する。それらをもとに、科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて、構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習を行い、アウトプット力を強化していく。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	理学対象
	3H102	英語1	1	1	必修	1	[Regular] 水2 331 [Advanced] 水3 331	小林ゆきの	これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。最初の数回では、英語と日本語の構造的、意味的、音声的な違いにフォーカスを当て、英語の基本となる語順、音素、リズムを学修する。それらをもとに、科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて、構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習を行い、アウトプット力を強化していく。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	情報対象

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
外国語科目	3H110	英語2	1	1	必修	2	[Regular] 火4 331 [Advanced] 水3 331	小林ゆきの	英語2では、英語Aに続き、これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて、構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習を行い、アウトプット力を強化していく。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	鍼灸対象
	3H111	英語2	1	1	必修	2	[Regular] 水2 331 [Advanced] 水3 331	小林ゆきの	英語2では、英語Aに続き、これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて、構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習を行い、アウトプット力を強化していく。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	理学対象
	3H112	英語2	1	1	必修	2	[Regular] 金2 331 [Advanced] 水3 331	小林ゆきの	英語2では、英語Aに続き、これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて、構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習を行い、アウトプット力を強化していく。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	情報対象
	3H120	英語3	1	2	鍼灸必修 理学選択 情報選択	1	金3 331	小林ゆきの	これまで修得してきた英語力を駆使して、Critical Thinking（批判的思考）とはどのようなものかを、入門的英語教材を通して学ぶ、Content-based（内容重視型）の授業である。英語を手段としてCritical Thinking（内容）を学ぶことで、英語の4技能を効果的・統合的に伸ばし、かつ、大学生として必要な、論理的・批判的思考を身に付けていくことを狙いとする。また、これと並行して毎週小テストを行い、実践的な英語表現を身につけていく。	情報は令和6年度以降入学者対象

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
外国語科目	3H130	英語4	1	2	選択	2	火3 331	小林ゆきの	This is a content-based course that aims to improve students' English skills as well as to develop the ability of critical thinking. Throughout this course, students will learn how to express and discuss their opinions, reach consensus and make decisions in English. Students enrolling this course will be expected to be willing to participate in the discussion in English.	情報は令和6年度以降入学者対象
	3H200	オーラルコミュニケーション1	1	1	必修	1	[Regular] 火3 536 [Advanced] 水4 331	非) Catherine Vivar Oda 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	鍼灸対象
	3H201	オーラルコミュニケーション1	1	1	必修	1	[Regular] 火4 536 [Advanced] 水4 331	非) Catherine Vivar Oda 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	理学対象

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
外国語科目	3H202	オーラルコミュニケーション1	1	1	必修	1	[Regular] 火5 536 [Advanced] 水4 331	非) Catherine Vivar Oda 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	情報対象
	3H210	オーラルコミュニケーション2	1	1	必修	2	[Regular] 木1 536 [Advanced] 火5 536	非) Catherine Vivar Oda 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	鍼灸対象

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
外国語科目	3H211	オーラルコミュニケーション2	1	1	必修	2	[Regular] 木1 536 [Advanced] 火5 536	非) Catherine Vivar Oda 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	理学対象
	3H212	オーラルコミュニケーション2	1	1	必修	2	[Regular] 金4 536 [Advanced] 火5 536	非) Catherine Vivar Oda 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	情報対象
	3H220	オーラルコミュニケーション3	1	2	選択	1	金2 316	非) Viktoriya Nikolova	本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで、特定のトピックについて意見交換やディスカッションに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。 授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題や発表などの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
外国語科目	3H230	オーラルコミュニケーション4	1	2	選択	2	金3 331	非) Viktoriya Nikolova	本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで、特定のトピックについて意見交換やディスカッションに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。 授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題や発表などの準備は各自でしっかり行うこと（English Loungeの活用を推薦）。	
	3H300	中国語1	1	1	選択	1	水5 331	非) 大森真理 (李立冰)	この授業では、中国語の発音からはじめ、文法の基礎を一通り学習すると共に、読む・書く・聞く・話す全般にわたって基礎力を養う。 1学期では、発音の基礎と簡単な日常会話の表現を学ぶ。自己紹介ができるような総合的な中国語を学ぶ。	
	3H310	中国語2	1	1	選択	2	水5 331	非) 大森真理 (李立冰)	この授業では、第1学期で学んだ中国語の発音から復習しはじめ、引き続き文法の基礎を一通り学習すると共に、読む・書く・聞く・話す全般にわたって基礎力を養う。 2学期では、1学期で学んだものを全体的に復習し、引き続き基本文型・文法事項を学び、辞書を引いて簡単な文章の読み書きができるような総合的な中国語を学ぶ。	

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
日本語科目	3H400	文章技法1	1	1	必修	1	金1 316	伊藤和之	大学で執筆するレポートや論文を書く際に必要とされる文書作成の基本的な考え方・テクニックを学ぶ。同音異義語、敬語、接続詞などの日本語表現の基礎から、事実と意見の書き分けやパラグラフライティングに則ったレポートを書く際に必要となる事項について学ぶ。	鍼灸対象
	3H401	文章技法1	1	1	選択	1	金1 316	伊藤和之	大学で執筆するレポートや論文を書く際に必要とされる文書作成の基本的な考え方・テクニックを学ぶ。同音異義語、敬語、接続詞などの日本語表現の基礎から、事実と意見の書き分けやパラグラフライティングに則ったレポートを書く際に必要となる事項について学ぶ。	理学対象
	3H402	文章技法1	1	1	選択	1	金1 316	伊藤和之	大学で執筆するレポートや論文を書く際に必要とされる文書作成の基本的な考え方・テクニックを学ぶ。同音異義語、敬語、接続詞などの日本語表現の基礎から、事実と意見の書き分けやパラグラフライティングに則ったレポートを書く際に必要となる事項について学ぶ。	情報対象
	3H410	文章技法2	1	1	選択	2	金1 316	伊藤和之	第1学期科目「文章技法1」を基礎として、大学で執筆するレポートや論文を書く際に必要とされる考え方・テクニックを学び、技能を更に高める。講義の間に演習をはさみ実践力をつける。	鍼灸対象
	3H411	文章技法2	1	1	選択	2	金1 316	伊藤和之	第1学期科目「文章技法1」を基礎として、大学で執筆するレポートや論文を書く際に必要とされる考え方・テクニックを学び、技能を更に高める。講義の間に演習をはさみ実践力をつける。	理学対象
	3H412	文章技法2	1	1	選択	2	金1 316	伊藤和之	第1学期科目「文章技法1」を基礎として、大学で執筆するレポートや論文を書く際に必要とされる考え方・テクニックを学び、技能を更に高める。講義の間に演習をはさみ実践力をつける。	情報対象

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報・データサイエンス基礎科目 (情報リテラシー科目)	3H500	情報基礎1	2	1	必修	1	水1 共同	福永克己	大学での学習に必要な情報リテラシーに関する知識を習得することを目的とする。Windowsの基本操作から、電子メール、インターネットの使い方やマナーについて学習し、さらにワープロ操作や表計算ソフトの基本操作についても学習する。	鍼灸対象
	3H501	情報基礎1	2	1	必修	1	水2 536	金堀利洋	パソコン・インターネット等ICTの基本的な仕組みを理解し、情報の発信、そしてコミュニケーションの道具として使うことが出来る素質を養う。	理学対象
	3H502	情報基礎1	2	1	必修	1	火1 411	福永克己	情報システム学科での学習に必要な情報リテラシーに関する知識を習得する。エディタ操作、ファイル管理操作、コマンドライン操作、ハードウェアに関する学習などを通して、文書処理やプログラミングの資質を養う。	情報対象
	3H510	情報基礎演習1	1	1	必修	1	火2 411	福永克己	大学での学習に必要な情報リテラシーに関する知識を習得することを目的とする。Windowsの基本操作から、電子メール、インターネットの使い方やマナーについて学習し、さらにワープロ操作や表計算ソフトの基本操作についても学習する。	鍼灸対象
	3H511	情報基礎演習1	1	1	必修	1	火1 536	金堀利洋	Windowsの操作、ネットワークの利用、そして、MS-Wordを用いて、レポート・論文等を書くために必要と思われる操作方法を学ぶ。	理学対象
	3H512	情報基礎演習1	1	1	必修	1	火2 411	福永克己	情報システム学科での学習に必要な情報リテラシーに関する知識を習得する。エディタ操作、ファイル管理操作、コマンドライン操作、ハードウェアに関する学習などを通して、文書処理やプログラミングの資質を養う。	情報対象

教養教育系科目

(2) 言語・情報教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報・データサイエンス基礎科目 (情報リテラシー科目)	3H520	情報基礎2	2	1	選択	2	水1 共同	福永克己	Microsoft Wordの操作方法、Microsoft Excelの関数を用いた表作成方法の学習をする。また、Microsoft PowerPointを用いたスライドの作成とプレゼンテーション方法を学習する。	鍼灸対象
	3H521	情報基礎2	2	1	選択	2	月4 536	金堀利洋	情報基礎1・同演習1より個人の習熟度に合わせ、更に踏み込んだパソコンの使用方法を学び、情報機器を用いて情報の分析ができるようスキルの向上と修得をめざす。	理学対象
	3H522	情報基礎2	2	1	必修	2	木1 411	岡本健 垣野内将貴	コマンドラインの操作技術やハードウェアの基礎知識、ネットワークの仕組みなどを学習することにより、情報化社会に求められる知識と技術を習得する。	情報対象
	3H530	情報基礎演習2	1	1	選択	2	水2 共同	福永克己	Microsoft Wordの操作方法、Microsoft Excelの関数を用いた表作成方法を演習する。また、Microsoft PowerPointを用いたスライドの作成とプレゼンテーション方法を演習する。	鍼灸対象
	3H531	情報基礎演習2	1	1	選択	2	月5 536	金堀利洋	情報基礎2より個人の習熟度に合わせ、より詳しい、Windowsの操作、ネットワークの利用を学ぶ。 また、MS-PowerPointによるプレゼンテーションの作成法も学ぶ。	理学対象
	3H532	情報基礎演習2	1	1	必修	2	木2 411	岡本健 垣野内将貴	コマンドラインの操作技術やハードウェアの基礎知識、ネットワークの仕組みなどを学習することにより、情報化社会に求められる知識と技術を習得する。	情報対象

教養教育系科目
(3) 障害関係教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
障 害 関 係 教 育 科 目	4H100	視覚障害学概論	2	1	選択	1	木2 316	伊藤和之 宮城愛美	キャリア形成の視点から、自己の障害の特性を理解し適切に対処するための知識や技術を身につけると共に、自己の障害や視覚障害全般についての見識を深め、社会的なリーダーとしても通用する障害者となるべく、障害者に対する社会の認識、障害者の自立などを学修する。適宜、授業関連のゲストスピーカーを招聘することがある。	
	4H110	視覚障害者社会参加論	2	1	選択	2	月1 316 Teams	竹下浩	視覚障害者の就労に関する主要文献を、判り易く解説します。前半では実践的な論文と現場の実際例を学び、後半は学術的な論文を読み、将来現場で問題解決できる切り口を身に付けます。ゼミ形式で、論点に対する考えをまとめ、言葉や文章で伝える訓練を反復することで、スキル向上が実感できます。GTAという研究手法で、様々な職場での障害者活用を具体的に支援でき、それが社会のD&Iにつながることを学びます。	
	4H120	視覚障害情報保障論	2	1	選択	1				令和7年度開講せず
	4H200	点字の理論と実際	2	1	選択	1	木5 316	田中仁	点字についての講義を中心に、自身が書いたものを、目で読むという形で点字の基礎を学習する。とりわけ、分かち書きについては、時間を割いて詳細に行い、その能力を向上させる。	

教養教育系科目
(3) 障害関係教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
障害関係教育科目	4H300	障害補償演習1	1	1	選択	1	木4 316	伊藤和之 宮城愛美 田中仁 嶋俊樹	各学生のニーズと能力に応じ、視覚障害補償の理論と具体的方策を学習する。 具体的には、学修および各種試験等において点字、点字機器、デイジー、タブレット、その他の機器・技術の使用を希望する学生が、その効率的な利用法を学習する。	学生と教員との相談の上、他の空いている時限・教室等で、授業を行う場合がある。
	4H310	障害補償演習2	1	1	選択	2	木4 316	伊藤和之 宮城愛美 田中仁 嶋俊樹	障害補償演習1に引き続き、各自が必要な障害補償技術のスキルアップを行う。必要に応じて、専門性の高いデイジー図書の作成ができ、また、それらを用いた学習が行える。また、パソコンやタブレットを利用した高度な視覚障害補償方法を学ぶ。	学生と教員との相談の上、他の空いている時限・教室等で、授業を行う場合がある。

教養教育系科目

(4) 健康・スポーツ教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
健康スポーツ教育科目	5H100	健康・スポーツ1	1	1	必修	1	月3 (月5) 体育館 プール 他	香田泰子 天野和彦	大学生生活のスタートに当たり,健康で活力ある学生生活を送るために必要となる健康や体力に関する理論を学修するとともに, スポーツや体力テストを通して自分の身体について理解し,自己に適した健康・体力づくりの方法を学修する。また,視覚障害者スポーツの概要を知る。	鍼灸対象 令和5年度以前 入学者は選択
	5H101	健康・スポーツ1	1	1	必修	1	月3 体育館 プール 他	香田泰子 天野和彦	大学生生活のスタートに当たり,健康で活力ある学生生活を送るために必要となる健康や体力に関する理論を学修するとともに, スポーツや体力テストを通して自分の身体について理解し,自己に適した健康・体力づくりの方法を学修する。また,視覚障害者スポーツの概要を知る。	理学対象 令和5年度以前 入学者は選択
	5H102	健康・スポーツ1	1	1	必修	1	火4 体育館 プール 他	香田泰子 天野和彦	大学生生活のスタートに当たり,健康で活力ある学生生活を送るために必要となる健康や体力に関する理論を学修するとともに, スポーツや体力テストを通して自分の身体について理解し,自己に適した健康・体力づくりの方法を学修する。また,視覚障害者スポーツの概要を知る。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選択
	5H110	健康・スポーツ2	1	1	必修	2	月3 体育館 プール 他	香田泰子 ◎天野和彦	各種スポーツの実践を通してスポーツ技能の向上を図り、自己に適したスポーツや運動を理解し自主的に実践していく能力や態度を身につける。 視覚障害者スポーツやアダプテッド・スポーツについての理解を深める。	鍼灸対象 令和5年度以前 入学者は選択
	5H111	健康・スポーツ2	1	1	必修	2	火4 体育館 プール 他	香田泰子 ◎天野和彦	各種スポーツの実践を通してスポーツ技能の向上を図り、自己に適したスポーツや運動を理解し自主的に実践していく能力や態度を身につける。 視覚障害者スポーツやアダプテッド・スポーツについての理解を深める。	理学対象 令和5年度以前 入学者は選択
	5H112	健康・スポーツ2	1	1	必修	2	火2 体育館 プール 他	香田泰子 ◎天野和彦	各種スポーツの実践を通してスポーツ技能の向上を図り、自己に適したスポーツや運動を理解し自主的に実践していく能力や態度を身につける。 視覚障害者スポーツやアダプテッド・スポーツについての理解を深める。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選択

教養教育系科目
(4) 健康・スポーツ教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
健康ス ポーツ 教育科 目	5H120	健康・スポーツ3	1	2	選択	1	火3 体育館 グラウン ド プール	香田泰子 天野和彦	各種スポーツの実践を通して、教養としてのスポーツ理論および技能の向上を図り、スポーツを自らの生活に取り入れることができる能力を養う。また、個々の状況に応じて活動することにより、現在はもとより生涯にわたっての自分とスポーツの関係やあり方を考える。	
	5H130	健康・スポーツ4	1	2	選択	2	月4 体育館 グラウン ド 他	香田泰子 ◎天野和彦	自分の体力や健康の維持・向上を図ること、各種スポーツの実践などを通して、教養としてのスポーツ理論および技能の向上を図り、スポーツを自らの生活に取り入れることができる能力を養う。また、個々の状況に応じて活動することにより、現在はもとより生涯にわたっての自分とスポーツの関係やあり方を考える。	

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H100	物理学基礎	2	1	選択	1				令和5年度以前入学者対象 令和7年度開講せず
	6H110	物理学基礎演習	1	1	選択	2				R5年度以前入学者対象 令和7年度開講せず
	6H120	確率・統計	2	2	選択	2	火1 231	田中仁	講義は確率の復習に始まり，推定・検定まで一通りの統計的手法の修得を目的とする。理解を深めるため，本科目は講義科目ではあるが，表計算ソフトを使った実習を行いながら講義内容の理解を深める。	鍼灸・理学対象
	6H200	解剖学	4	1	必修	1	金2,3 234	加藤一夫	模型・標本の観察および生体観察を通して，人体の区分，各部の特徴および骨格系と筋系の実際的な知識を身につける。体表から触知できる骨性・筋膜性指標を確実に把握する。	鍼灸対象
	6H201	解剖学	4	1	必修	1	火2,3 234	加藤一夫	模型・標本の観察および生体観察を通して，人体の区分，各部の特徴および骨格系と筋系の実際的な知識を身につける。体表から触知できる骨性・筋膜性指標を確実に把握する。	理学対象
	6H210	解剖学実習1	1	1	必修	2	木2,3 234	加藤一夫	・ 模型標本の観察および生体観察を通して，人体の区分，各部の特徴および骨の連結と血管系の実際的な知識を身につける。 ・ 体表から触知できる骨性・筋膜性指標を確実に把握する。 ・ 浅在性の神経・血管・リンパ節などを触知する。 ・ 深在性の臓器を体表へ投影してその位置関係を把握する。	鍼灸対象
	6H211	解剖学実習1	1	1	必修	2	火2,3 234	加藤一夫	・ 模型標本の観察および生体観察を通して，人体の区分，各部の特徴および骨の連結と血管系の実際的な知識を身につける。 ・ 体表から触知できる骨性・筋性指標を確実に把握する。 ・ 浅在性の血管あるいはリンパ節などを触知する。 ・ 深在性の臓器を体表へ投影してその位置関係を把握する。	理学対象

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H220	解剖学実習2	1	2	必修	1	月4,5 234	加藤一夫	・人体の形態と構造の全体的な特徴を理解し、各器官の構造を機能と関連づけて理解する。 ・人体および標本の観察により骨格系、筋系、神経系および内臓の形態と位置関係を把握する。	鍼灸対象
	6H221	解剖学実習2	1	1 又は 2	必修	1	月4,5 234	加藤一夫	・人体の形態と構造の全体的な特徴を理解し、各器官の構造を機能と関連づけて理解する。 ・人体および標本の観察により骨格系、筋系、神経系および内臓の形態と位置関係を把握する。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年 次は2 令和6年度以降 入学者の履修年 次は1
	6H230	生理学1	2	1	必修	1	火1 237	志村まゆら	人の病気の理解や、鍼灸・あんまマッサージ指圧療法の作用機序を理解する上で、正常な人体の仕組みについて理解する事が重要である。本講義ではそれぞれの器官の生理機能に関する基本事項について学修する。主な内容は、生理学基礎、循環、呼吸、消化である。それ以外の項目は生理学2で学修する。グループディスカッションを通じて人体の機能と健康に関する知識を深める。	鍼灸対象
	6H231	生理学1	2	1	必修	1	金3 224	志村まゆら	人の病気の理解や、理学療法の作用機序を理解する上で、正常な人体の仕組みについて理解する事が重要である。本講義ではそれぞれの器官の生理機能に関する基本事項について学修する。グループディスカッションを通じて自ら生理機能と健康についての理解を深める。主な内容は、生理学基礎、循環、呼吸、消化である。それ以外の項目は生理学2で学修する。	理学対象
	6H240	生理学2	4	1	必修	2	火2,3 237	志村まゆら	人の病気の理解や、鍼灸・あんまマッサージ指圧療法の作用機序を理解する上で、正常な人体の仕組みについて理解する事が重要である。本講義では生理学1に引き続き、それぞれの器官の生理機能に関する基本事項について学修する。主な内容は、代謝、体温、排泄、内分泌、生殖、神経一般、中枢神経、末梢神経、自律神経、筋、運動、感覚である。グループディスカッションを通じて生理機能と健康に関する理解を深める。	鍼灸対象

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H241	生理学2	4	1	必修	2	金2,3 224	志村まゆら	人の病気の理解や，理学療法の作用機序を理解する上で，正常な人体の仕組みについて理解する事が重要である。本講義では生理学1に引き続き，それぞれの器官の生理機能に関する基本事項について学修する。主な内容は，代謝，体温，排泄，内分泌，生殖，神経一般，中枢神経，末梢神経，自律神経，筋，運動，感覚である。グループディスカッションを通じて人体の機能と健康に関する理解を深める。	理学対象
	6H250	生理学実習	1	2	必修	1	火4,5 214 217	志村まゆら	人体の生理機能に関する基本的事項について実験実習を通して学修する。主な項目は呼吸機能，循環調節，骨格筋の収縮機能，神経の興奮伝導，皮膚感覚，体性－自律神経反射である。グループディスカッションを通じて実験結果を考察する。	鍼灸対象
	6H251	生理学実習	1	2	選択	1				理学対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	6H252	生理学実習	1	1	選択	通年	水1 214	志村まゆら	生理学1および生理学2の講義内容に関連する生体機能について，実験実習を通して学修する。主な項目は呼吸機能，循環調節，骨格筋の収縮機能，神経の興奮伝導，皮膚感覚，体性－自律神経反射である。グループディスカッションを通じて実験結果の考察を行う。	理学対象 令和6年度以降 入学者対象
	6H260	病理学	2	2	必修	1	月3 共同 遠隔授業	白岩伸子	疾病（病気）の原因や疾病によって現れてくる症状と生体の反応（形態的变化等）を主要疾患と関連づけて学習する。主な内容は，疾病の原因と経過，各種病変，炎症，腫瘍，免疫異常とアレルギー，先天異常である。	鍼灸・理学対象
	6H270	衛生学・公衆衛生学	2	2	鍼灸必修 理学選択	1	水1 217	松田えりか	衛生学・公衆衛生学はあらゆる学問をもとにして，個人，家族のみならず，地域社会，及び国民全体の健康を考え，疾病予防や健康の維持増進を理解するために学習する予防医学の一分野である。主な内容は，健康と健康管理，食品と栄養，食中毒，食品衛生，環境と公害，母子保健，生活習慣病，感染症，滅菌および消毒法，疫学，衛生統計を学習する。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職 履修者は必修

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H280	衛生学実習	1	2	選択	2				令和7年度開講せず
	6H300	生化学	2	1	選択					令和7年度開講せず
	6H310	薬理学	1	2	鍼灸選択 理学必修	1	集中 217 224	非) 幸田幸直	・薬物は生体にどのように作用するのか。 ・投与された薬剤は体内でどのように変化するのか。 ・種々の病態における薬物療法はどのように行われているのか。 ・医薬品の取り扱いにはどのような注意が必要か。 以上について、教科書ならびに教科書の要点を記した資料を使用して学ぶ。	鍼灸・理学対象 詳細は後日掲示
	6H320	人間発達学	2	2	鍼灸選択 理学必修	2	月1 臨床運動共同	◎鮎澤聡 中村直子 木村健作	理学療法などにおいて、障害を持った患者に適切な介入をしていくためには、正常な人間発達の知識が必要となる。本科目においては、人間発達の原則、発達理論を学んだのちに、胎児期、乳児期、幼児期、学童期、青年期、成人期、老年期までの各段階における身体と心理的発達、社会的発達を学習する。また神経機能発達について学習し、さらに脳・脊髄疾患における臨床的な障害像を学ぶ。	鍼灸・理学対象
	6H330	基礎運動学1	2	1 又は 2	必修	通年	木2 224	佐久間亨	運動学の用語を習得し、身体各関節における構造と機能を理解する。さらに身体運動を分析するアプローチ方法の概要を理解する。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年次は2 令和6年度以降 入学者の履修年次は1
	6H340	基礎運動学2	2	2	必修	1	火4 224	井口正樹 杉田洋介	運動学習の方法や随意運動のメカニズム、運動制御、運動時の生理学的変化について理解し、身体の動き方のメカニズムを探求し考察できるようにする。	理学対象
	6H350	基礎運動学実習	1	2	必修	2	水3,4 運動機能検査室	佐久間亨	基礎運動学で学習した基本的な概念と方法について実習を通じて身につける。運動学分野における検査測定を体験し、収集したデータの解釈をすることで、科学的視点に立った理学療法を展開できるように学習する。	理学対象 令和5年度以前 入学者は選択

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H370	臨床栄養学	2	2	鍼灸選択 理学必修	1	火2 臨床	非) 麻見直美 非) 海老名慧	栄養学、医学領域における臨床栄養学は、予防医学、治療医学などの分野からのアプローチがなされ、中でも治療医学ではそれぞれの病態別に栄養管理がなされる栄養治療(栄養療法・食事療法)の取り組みが重要である。傷病者の病態や栄養状態を学習し、医療・介護制度やチーム医療について考え、各疾患の栄養・食事療法について学習する。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職履修者は必修
	6H380	ヘルスプロモーション論	2	2	選択	1	水2 227	◎香田泰子 天野和彦	生活習慣病やメタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームを予防し、健康的な生活を構築するための要素：運動、栄養、休養と、健康を阻害する要因について学修する。健康づくりのための運動を理解するために、レジスタンストレーニング、エンデュアランストレーニング等の効果に関する理論と実践方法を対象者の特徴をふまえて学修し、年齢・性別・健康状態や体力レベルに応じた健康づくりの方法や運動プログラムの作成について理解するとともに、それらを地域社会においてどのように指導するか、施設や用具の利用方法も含めて学ぶ。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職履修者は必修
	6H390	学校保健	2	2	選択	1	集中 316	非) 野津有司	学校保健の変遷や意義、構成、学校保健安全法、学校保健活動の展開等の基本的な内容について講述する。また、学校安全、食育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、性・エイズ教育等の現代的な課題を取り上げ、学校での適切な指導の考え方と進め方について具体的に解説する。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職課程履修者は必修
	6H395	救急法 (令和6年度以降入学者対象)	1	1～4	選択	通年	集中			鍼灸・理学対象 令和7年度開講せず

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H400	情報数学	2	1	必修	2	月4 411	垣野内将貴 鶴見昌代	情報システム学科の学生として基本的に身につけたい基本のアルゴリズムとそれを支える数学知識をおさえる。アルゴリズム活用のために必要な数学的考察力を鍛える。十分に問題演習も行う予定である。	情報対象
	6H430	技術英語1	1	2	選択	1	火1 431	関田巖	テキストの例題文を中心とした和文と英文の音声データを聞き、予習時にリピーティングし、大きな声で英文を話すことを学ぶ。同時に、和文と英文との相互変換ができるようになることを目指す。授業内では、例題文の英文を読んでもらい、予習の成果を確認する。例題文に關係する文法と語法をテキストに基づいて解説する。例題文の応用課題をMoodleで出題する。復習時に各自で回答ならびに答え合わせを行い、知識の幅を広げる。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必
	6H440	技術英語2	1	2	選択	2	木3 431	垣野内将貴	科学技術の発達とグローバル化に伴い、最新の技術や成果の多くは英語で学ぶ必要がある。また、インターネットを通して、海外との専門分野におけるコミュニケーション機会が増えている。その結果、科学技術英語を理解できるか否かが、技術者としての成功を左右するようになってきた。そこで本授業では、情報科学技術（Information Technology）の英語能力の向上を図るために、IT英語の表現と理解、それを用いた国際コミュニケーション力の習得を目的とした講義を行う。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必
	6H480	移動支援工学演習	1	1	選択	1	火3 411	関田巖	各自が今までで移動時に感じた不便さや困難さを発表し、クラス内で共有する。共有内容から対策したい共通課題を見つける。この際、受講者数、興味のある課題内容等の観点から、場合によってグループ分けをおこなう。各グループごとに、興味のある課題に対して解決策を検討し、解決に向けて行動する。また、視覚障がい者の歩行時に重要なオリエンテーションとモビリティについて学習する。触図について理解を深める。単独歩行時の手がかりとストレスについても理解を深める。	情報対象
	6H490	代数学1	2	2	選択	2	月1 536 224	田中仁	集合、写像、連立一次方程式、行列、ベクトル、ベクトル空間等のテーマを通じて、数学における論理的な表現法や証明法を基礎から学修する。	情報対象 「数学」の教職 履修者は必修 令和5年度以前 入学者は選必

専門教育系科目
(5) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H510	幾何学 1	2	2	選択	通年	集中 431	金堀利洋	カントールによる集合の概念に始まり、写像、像と逆像、直積集合、二項関係、同値関係、商集合、集合の濃度、可算濃度と非可算濃度を講義し、集合論の理解を深める。 集合と写像は数学における基本で、理解しにくいものであるため、直感に頼ることの少ない純粋な論証を行い、数学における論理の進め方も学ぶ。	情報対象 「数学」の教職 履修者は必修 詳細は別途掲示 令和5年度以前 入学者は選必
	6H530	解析学 1	2	2	選択	2	水2 431	田中仁	数学検定試験準1級は高校数学Ⅲレベル対応で、本講義終了時点で、少なくとも準1級を超えるレベルを基準とし、講義だけに留まらず豊富な演習を果たしながら、授業を進めるものとする。証明問題が解ける以前に、微分・積分の計算、級数・関数の収束、極限の導きも重要であり、準1級を超える1級を目指した講義内容を用意している。	情報対象 「数学」の教職 履修者は必修 令和5年度以前 入学者は選必
	6H550	確率・統計 1	2	2	選択	1	水2 431	鶴見昌代	講義は確率の復習に始まり、推定・検定まで一通りの統計的手法の修得を目的とする。理解を深めるため、本科目は講義科目ではあるが、表計算ソフトを使った実習を行いながら講義内容の理解を深める。	情報対象 「数学」の教職 履修者は必修 令和5年度以前 入学者は選必

専門教育系科目
(6) 専門臨床教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門臨床教育科目	7F100	医学概論	2	1	鍼灸選択 理学必修	2	火1 217	酒井俊 非) 杉岡良彦	医学概論は「医学とは何か」を学ぶ学問であるが、医学は膨大な知識を含み、かつ日進月歩である。ここでは、医学を「心身の病気をなおし、健康を増進させる学問」としてとらえ、これに関与する知識を学び、その問題、課題を考える。臨床医学への入門として、病態と症状の関連に目を向ける。また、先端医療にも触れる。	鍼灸・理学対象
	7F130	臨床病態学	1	2	鍼灸必修 理学選択	2	水1 217	鮎澤聡	解剖学、生理学、病理学、症候学、疾患学を結びつけて疾患・病態を理解できるように学習する。	鍼灸・理学対象
	7F140	内科学1	1	2	必修	2	水5 臨床	酒井俊	一般的な内科疾患について、その原因、疫学、症状、予後、治療法を学習する。 内科学2と合わせて内科学全般について学ぶ。各回において、提示されたキーワードの疾患について、その概念、病態生理、診断を中心に理解する。さらに治療法や予後についても学ぶ。	鍼灸・理学対象
	7F170	神経内科学	2	2	必修	2	月5 共同 遠隔授業	白岩伸子 鮎澤聡	神経症候、神経学的所見、臨床神経学的補助検査のみかたと意義を学習する。さらに、各種神経疾患の概念、成因、疫学、臨床症状、検査所見、治療法、予後を学習する。講義主体である。	鍼灸・理学対象
	7F180	神経内科学演習	1	2	鍼灸必修 理学選択	2	木5 共同 遠隔授業	白岩伸子 鮎澤聡	神経症候、神経学的所見、臨床神経学的補助検査のみかたと意義を学習する。さらに、各種神経疾患の概念、成因、疫学、臨床症状、検査所見、治療法、予後を学習する。授業は配付資料およびパワーポイントを用いて、症例検討、例題検討を行い演習方式で学習する。	鍼灸・理学対象
	7F190	整形外科学	2	2	必修	1	水5 講堂	非) 菅谷久	運動器としての四肢・脊柱の構造・機能を理解し、外傷・障害・疾病によって引き起こされる症状の診断・治療に関する基礎知識を習得する。また、運動器各部位の各々の特徴について個別に学習する。これらの知識の上に立って運動器疾患に対する考え方を学ぶ。	鍼灸・理学対象

専門教育系科目
(6) 専門臨床教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門臨床教育科目	7F200	整形外科学演習	1	2	鍼灸必修 理学選択	2	火2 講堂	未定	整形外科で修得した基礎知識を元に、一般的な運動器疾患に関して行われている問診、理学的所見などの基本的な診察方法を修得する。また、代表的な疾患の徴候、症状、経過、検査所見、画像所見などに関する実践的学習を行い、運動器疾患に対する考え方やそれを応用した健康の維持増進に関する指導方法を修得する。	鍼灸・理学対象
	7F210	小児科学	2	2	鍼灸選択 理学必修	2	月2 臨床	◎鮎澤聡 酒井俊	小児科学の基礎的事項について、小児期によくみられる疾患の知識を中心に学習する。成長と発達、小児の栄養、保健、アレルギー疾患、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液・造血器、代謝・内分泌、腎・泌尿器、神経系の疾患に関する基礎的知識を習得する。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職 課程履修者は必修
	7F250	リハビリテーション入門	2	2	必修	2	木1 224	小山真吾	リハビリテーションの理念と関連する制度について学ぶ	理学対象 令和5年度以前 入学者対象
	7F290	臨床心理学	2	2	必修	2	水2 316 Teams	竹下浩	リハ専門職には、対象者の内面や行動規定因の理解、適切な介入スキルの習得が求められます。この授業では、心理学理論を活用しながら、個人と家族向け精神・行動面の健康管理、地域関係者への助言、訓練や教育、研究を兼ねた実践が行えるための基礎を学びます。	鍼灸・理学対象 令和5年度以前 入学者は選択

専門教育系科目

(7) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F100	フレッシュマンセミナー	1	1	必修	1				鍼灸対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9F150	東洋医学概論1	2	2	必修	1	木2 217	石崎直人	東洋医学は、2000年前の黄河文明において発祥し、現在に伝承されてきた鍼灸、手技、漢方、導引、按蹻などを指す。本科目は、東洋医学の歴史及び人体の捉え方の基礎を学ぶものである。本科目では東洋医学的臨床経験がある教員が、その経験を活かして指導することで、学生は実践的な東洋医学理論について学ぶことができる。	鍼灸対象
	9F160	東洋医学概論2	2	2	必修	2	木1,2 (2学期前半, 2時限連続 で実施) 217	石崎直人	本科目は、東洋医学概論1に引き続いて、東洋医学の考え方、実践の仕方を学ぶものである。具体的には、東洋医学の病因論、診断論（四診法）、病気の総合的把握概念である証などについて理解した上で、東洋医学的な鍼灸治療の考え方や、補寫法などの原則について学ぶ。	鍼灸対象
	9F165	東洋医学概論3	2	2	必修	2	木1,2 (2学期後半, 2時限連続 で実施) 217 鍼灸	石崎直人	東洋医学の診断法である望・聞・問・切の四診法や、基本的な治療法、鍼灸の補寫法などについて学び、演習を通して、臨床の場で運用するための技術を身につける。本科目では東洋医学的臨床経験がある教員が、その経験を活かして指導することで、学生は実践的な東洋医学理論について学ぶことができる。	鍼灸対象 令和6年度以降 入学者
	9F170	東洋医学概論演習	1	2	必修	2	木曜1,2 (2 学期後半, 2時限連続 で実施) 217 鍼灸	石崎直人	東洋医学の診断法である望・聞・問・切の四診法や、基本的な治療法、鍼灸の補寫法などについて学び、演習を通して、臨床の場で運用するための技術を身につける。本科目では東洋医学的臨床経験がある教員が、その経験を活かして指導することで、学生は実践的な東洋医学理論について学ぶことができる。	鍼灸対象 令和5年度以前 入学者対象

専門教育系科目

(7) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F180	経絡経穴学1	2	2	必修	1	木1 217 116	笹岡知子	東洋医学を構成する基礎理論と経絡理論，人体における経絡体系，人体における経穴の全容，経絡各論（十二経脈，奇経八脈），経穴各論（経穴，経外奇穴，阿是穴），経絡及び経穴の現代医学的意義（反応帯と反応点）などについて学習する。講義を主体とするが、経絡および経穴の位置の確認に加え取穴技術の会得も必要なため、実習様の体験型学習を行いながら進行する。	鍼灸対象
	9F190	経絡経穴学2	2	2	必修	2	金4 116	松田えりか 石崎直人	東洋医学を構成する基礎理論と経絡理論，人体における経絡体系，人体における経穴の全容，経絡各論（正経十二経脈，奇経八脈），経穴各論（経穴，奇穴，新穴），経絡及び経穴の現代医学的意義などについて学修する。 なお，本授業は経絡経穴学実習の授業と連動し、実際の取穴等のアクティブ・ラーニングを取り入れながら進行する。	鍼灸対象
	9F200	経絡経穴学実習	1	2	必修	2	金5 116	松田えりか 石崎直人	鍼灸手技療法の臨床の場で経絡経穴学の知識を十分活用できるよう，模型や生体観察を通じて，経絡の流注及び経穴の取穴の実際を学習する。 なお，本授業は経絡経穴学2の授業と連動し、実際の取穴等のアクティブ・ラーニングを取り入れながら進行する。	鍼灸対象
	9F270	鍼灸基礎実習1	1	2	必修	1	木3 116	石崎直人	鍼治療を行うにあたり医療従事者としての心構えと態度、安全かつ衛生的で正確な刺鍼技術と施灸技術を修得する。	鍼灸対象
	9F280	鍼灸基礎実習2	1	2	必修	2	木3 116	笹岡知子	鍼灸基礎実習1に続き、基本的な鍼灸技法を学習する。特に、安全な指針法、刺激量のコントロール、低周波鍼通電療法の基本、様々な灸法について学ぶ。	鍼灸対象
	9F290	あん摩基礎実習	1	2	必修	1	月2 116	近藤宏	あん摩の基礎を実習（アクティブラーニング型授業）により学習する。臨床実習の前段階として、全身あん摩とその他併用する運動法や物理療法についての基礎を本実習により学習する。	鍼灸対象
	9F300	あん摩・指圧基礎実習	1	2	必修	2	水3 116	近藤宏	あん摩と指圧の基礎技術を実習形態（アクティブラーニング型授業）により体験的に学習する。臨床実習の前段階として、全身のあん摩と全身の指圧と、併用する運動法の基礎を併せて学習する。	鍼灸対象

専門教育系科目

(8) 専門理学療法教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D100	理学療法入門	2	1 又は 2	必修	1	火5 224 運動	小山真吾	理学療法の概要と全体像について理解し，基本となる内容および知識を修得することにより，後に学習する各論へのスムーズな移行を促進する。授業は講義を主体とし，必要に応じて演習を取り入れる。小グループに分かれて本学付属診療所の理学療法治療場面を見学する。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年次は2 令和6年度以降 入学者の履修年次は1
	9D110	理学療法評価法1	2	2	必修	1	木3 運動 227	松井康	理学療法評価法とは，どのような理学療法を実施すべきかその理由となるデータの収集法のことである。理学療法評価法は1と2に分かれ，1では主に筋力検査と各種検査，2では主に関節可動域検査を分担する。筋力検査では，筋力のメカニズム，筋力低下を起こす病気，徒手筋力検査法を学ぶ。各種検査では，反射・反応，筋緊張，協調性，高次脳機能に関する検査法を学ぶ。	理学対象
	9D120	理学療法評価法1実習	1	2	必修	1	木4 運動	松井康	理学療法評価法1で学んだ知識を手技として修得する。そのために学生同士でペアを組み，患者とPTの役割を演じながら測定・評価の方法，障害を疑似体験する。筋力テストの評価だけでなく，声かけ，ベッドへの移動，歩行，体位変換，リスク管理など，実際に病院で利用できるよう場面を設定して行う。さらに評価の流れがスムーズに行くように理学療法評価法1で学んだ検査法を組み合わせ，1つの肢位で可能な全ての評価が行えるよう技術の統合化をめざす。	理学対象
	9D130	理学療法評価法2	2	2 又は 3	必修	1	木1 227 運動	松井康 小山真吾	理学療法に必要な検査・測定の目的や意義，方法について原則的な事項を学習し，各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。評価の目的，情報の収集と分析，治療プログラム，到達ゴール等の評価の過程，評価の進め方と時期，評価の記録と報告，必要器具，評価実施上の留意点。四肢長，周径計測，関節可動域測定，意識障害，感覚検査などの講義を行う。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年次は3 令和6年度以降 入学者の履修年次は2

専門教育系科目

(8) 専門理学療法教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D140	理学療法評価法2実習	1	2 又は 3	必修	1	木2 227 運動	松井康 小山真吾	理学療法に必要な検査・測定について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。四肢長，周径計測，関節可動域測定，反射検査，知覚検査などの実習を行う。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年 次は3 令和6年度以降 入学者の履修年 次は2
	9D150	運動療法基礎	2	2	必修	2	火5 227 運動	井口正樹	運動療法を行う前提として知っておかなければならない基本的な知識を習得する。具体的な方法などは「運動療法基礎実習」で学ぶ。	理学対象
	9D160	運動療法基礎実習	1	2	必修	2	集中	井口正樹	運動療法基礎で学んだ知識を手技として修得する。そのために学生同士でペアを組み，患者とP Tの役割を演じながら運動療法の指導方法，障害を疑似体験する。	理学対象 令和5年度以前 入学者対象
	9D230	体表解剖学及び触診法	1	2	選択	1	金4,5 運動	中村直子	学生同士が被験者となり、骨、筋、血管、神経の触察をしていく。	理学対象
	9D350	リハビリテーション行動科学	1	2	選択					令和7年度開講 せず
	9D410	接患・接遇法	1	2	必修	1	金4,5 集中 224	非) 渡辺満枝	理学療法士には、患者や医療スタッフとの緊密な連携が求められる。本科目では、臨床に必要なコミュニケーション能力を磨き、合わせて社会人としてのマナーを学ぶ。具体的には、相手に好印象を与える接遇法、明確で伝わりやすい話し方、立居振舞、婉曲表現や敬語の使い方などを実践トレーニングや臨床を想定したロールプレイングにより修得する。	理学対象 令和5年度以前 入学者は選択

専門教育系科目

(8) 専門理学療法教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D420	総合理学療法演習1	1	2	選択	通年	集中 541	2年次担任 松井康	理学療法に必要な基礎領域の知識について総合的に整理し、多くの問題を解答しながら検討を加える。自らの学力を把握し、不足している知識に関して、学習計画を立案する。	理学対象
	9D441	総合理学療法学実習1	1	2	必修	1	水3,4 224	酒井俊 木村健作 小山真吾	医療従事者に求められるコミュニケーションスキル、能動学習の態度を養う。理学療法士としてのキャリアデザインについて考える。系統だった教科書の読み方、論文の検索方法と読み方、レポートの書き方を学ぶ。授業はチュートリアル形式を基本とし、授業前準備→学生間のディスカッション→復習のサイクルを徹底する。	理学対象 令和6年度以降 入学者対象
	9D442	総合理学療法学実習2	1	2	必修	2	火4 運動	井口正樹 杉田洋介 木村健作	運動療法の基礎的な技術を習得する。さらに附属医療センターにおいて診療参加型臨床実習を行い、他の科目などで習得した、或いは習得中の基本的な理学療法の検査・測定技術や治療技術を、臨床の場で見学や協同参加を通して、復習や確認を行い、総合理学療法実習3へのスムーズな移行の準備をする。	理学対象 令和6年度以降 入学者対象
	9D450	医学英語	1	2 又は 3	選択	1	集中 224	井口正樹	臨床現場におけるカルテ理解や他の医療職とのコミュニケーション、学術誌読解、海外研修等に必要と思われる医学英語に触れ、単語の使い方や読み方を学習する。	理学対象
	9D460	臨床実習1	1	2	必修	1	集中 学外	◎松井康 三浦美佐 佐久間亨 他	病院・施設での理学療法の業務、理学療法士の役割と責任を包括的に把握し、リハビリテーション医学の中での理学療法の位置づけとリハビリテーション医学の対象について実習する。	理学対象 夏季休業時 5日間（40時間） 詳細は後日掲示
	9D465	臨床実習2	1	2	必修	2	集中 学外	◎松井康 三浦美佐 佐久間亨 他	通所・訪問リハビリテーション施設での理学療法の業務、理学療法士の役割と責任を包括的に把握し、リハビリテーション医学の中での理学療法の位置づけとリハビリテーション医学の対象について実習する。	理学対象 春季休業時 5日間（40時間） 詳細は後日掲示

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H100	プログラミング概論	2	1	必修	2	火3 411	小林真	pythonを題材に、プログラミングの基本である配列やファイル操作、ループや分岐などの制御構文を学ぶ。そして様々なプログラミング言語に触れ、異なる言語でも基本的な構造やアルゴリズムを自分で構築できる技術を身に着ける。更にオンラインマニュアル等を用いて自分で知識を得る方法を学ぶ。	情報対象
	9H110	プログラミング概論演習	1	1	必修	2	火4 411	小林真	pythonを題材に、プログラミングの基本である配列やファイル操作、ループや分岐などの制御構文を学ぶ。そして様々なプログラミング言語に触れ、異なる言語でも基本的な構造やアルゴリズムを自分で構築できる技術を身に着ける。更にオンラインマニュアル等を用いて自分で知識を得る方法を学ぶ。	情報対象
	9H120	情報システム概論1	2	1	必修	2	月3 共同	福永克己	講義主体で行う。毎回、復習で解いた過去問題の解説を行った後、教科書のポイントをまとめた資料を説明する。	情報対象
	9H130	情報アクセシビリティ	2	1	選択	2	水1 231	宮城愛美	視覚障害がもたらす最も深刻な問題は、情報アクセスの困難や不便である。社会の情報化が進展するなかで、視覚障害者の情報アクセシビリティを向上させるための様々な取り組みが行われているが、その変遷や現状を多面的に学び、アクセス支援技術の研究開発と普及の動向を総合的に知る。	情報対象
	9H140	情報アクセシビリティ演習	1	1	選択	2	水2 231	宮城愛美	視覚障害者の情報アクセシビリティの向上を図るには、情報にアクセスする当事者の側の対応力を強化することが重要である。本演習では、それを目指し、情報アクセスにおけるバリアの実際を理解したうえで、その軽減に役立つ機器や技術の活用法を実践的に習得する。	情報対象
	9H150	情報科学概論	2	1	必修	2	火1 411	関田巖	コンピュータが処理している情報（数値、情報量、2の補数、浮動小数点）と、コンピュータが動いているしくみ（メモリ、論理演算、通信路）について学習する。 Moodleを主に使って学習を進める。 講義中心で進める。授業の冒頭で、前回の講義に対する学生からの振り返りに基づいて回答し、学生からの疑問をなくす。講義中での問いかけを通して、各自がその答えを考え、講義内容の理解を深める。授業の最後に、各自で授業を振り返る。	情報対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H160	データサイエンス 入門1	2	1	必修	1	金3 411	坂尻正次	データサイエンスへの入門として、Microsoft Excelを用いて表計算によるデータ処理を視覚障害に対応した形で学習する。基本操作の学習から始まり、ワークシート・ブックの概念、関数利用の基礎、IF関数とそのネスト、データベース関数等の表計算の基礎を学ぶ。さらにプレゼンテーションの方法についても学習する。	情報対象
	9H170	データサイエンス 入門2	2	1	必修	2	金3 411	坂尻正次	データサイエンスへの入門として、Microsoft Excelを用いて表計算によるデータ処理の応用を視覚障害に対応した形で学習する。1年次1学期に履修した「データサイエンス入門1」の発展的内容となる。ピボットテーブル、データベース関数によるデータベース構築、配列数式等の高度な利用方法、グラフの作成などの学習を通して表計算ソフトの高度な利用方法を習得する。また、社会におけるデータ・AIの利活用についても学ぶ。	情報対象
	9H180	経営学総論	2	1	必修	1	月3 411	嶋村幸仁	企業の経営に関する基礎理論についてテキストを通して学ぶ。そのプロセスの中から、企業で効果的な経営を行うために必要なスキルや能力にはどのようなものがあるのか理解し、企業経営について考える。	情報対象
	9H185	障害補償ソフト ウェア工学	1	1	選択	2	木5 411	松尾政輝	視覚障害の補償となる様々なコンピュータソフトウェアとその技術を学習する。 障害状況に適した補償ソフトウェアの選定と利用組み合わせの検討を行う。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H190	Webプログラミング	2	2	選必	2	金1 431	大西淳児	Webページを作成するためのプログラミングの応用を学ぶ。Webページの作成の応用を学習し、演習を通して、スクリプトを用いた高度なWebページの作成を行う。	情報対象 令和5年度以前 入学者対象
	9H195	Webアプリケーション	2	2	選択	2	金1 431	大西淳児	Webページを作成するためのプログラミングの応用を学ぶ。Webページの作成の応用を学習し、演習を通して、スクリプトを用いた高度なWebページの作成を行う。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H200	ゲームプログラミ ング	2	2	選必	1	木3 431	松尾 政輝	Pythonによるプログラミングを通して、簡単なゲームを作成するための手順を学習する。 授業で学んだ知識を基に自分だけのオリジナルゲームを企画し、小規模ゲーム開発のプロセスを体験する。	情報対象 令和5年度以前 入学者対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門 情報シ ステム 教育科目	9H205	ゲーム開発プログラミ ング	2	2	選択	1	木3 431	松尾 政輝	Pythonによるプログラミングを通して、簡単なゲームを作成するための手順を学習する。 授業で学んだ知識を基に自分だけのオリジナルゲームを企画し、小規模ゲーム開発のプロセスを体験する。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H210	ゲームプログラミ ング演習	1	2	選必	1	木4 431	松尾 政輝	Pythonによるプログラミングを通して、簡単なゲームを作成するための手順を習得する。 授業で学んだ知識を基に自分だけのオリジナルゲームを企画し、小規模ゲーム開発のプロセスを体験する。	情報対象 令和5年度以前 入学者対象
	9H215	ゲーム開発プログラミ ング演習	1	2	選択	1	木4 431	松尾 政輝	Pythonによるプログラミングを通して、簡単なゲームを作成するための手順を習得する。 授業で学んだ知識を基に自分だけのオリジナルゲームを企画し、小規模ゲーム開発のプロセスを体験する。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H220	オブジェクト指向 言語	2	2	選択	1	月4 431	小林真	Rubyを主な対象言語として、オブジェクト指向言語についての理解を深める。	情報対象
	9H230	オブジェクト指向 言語演習	1	2	選択	1	月5 431	小林真	Rubyを主な対象言語として、オブジェクト指向言語についての技術を習得する。	情報対象
	9H240	コンピュータネッ トワーク	2	2	必修	1	木2 431	非) 巽久行	インターネット上で動作するソフトウェアがどのように情報をやりとりしているかに関する仕組みについて講義する。特に、コンピュータ同士が通信するために必要となる規約（通信プロトコル）や通信経路の選択技術（ルーティング）などについて学習する。 また、代表的なインターネットアプリケーションであるWorld Wide Webや電子メールがどのように実用化されているかについて講義する。理解をより深めるために、ネットワーク管理ツールの使用方法や簡単なプログラミングの実習を随時織り交ぜながら授業を進める。	情報対象
	9H250	Webアクセシビリ ティ	2	2	必修	1	金1 431	大西淳児	本講義では、WCAG2.1など最新のWebアクセシビリティ規格などの概要を学習すると共に、アクセシビリティを配慮したWebコンテンツの作成方法を中心に学ぶ。	情報対象 令和5年度以前 入学者対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H255	Webプログラミング概論	2	2	必修	1	金1 431	大西淳児	本講義では、WCAG2.1など最新のWebアクセシビリティ規格などの概要を学習すると共に、アクセシビリティを配慮したWebコンテンツの作成方法を中心に学ぶ。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H260	オペレーティングシステム1	2	2	選択	1	金4 431	金堀利洋	基本ソフトウェアであるオペレーティングシステムの核となる以下のような技術について講義する。コンピュータの資源である、CPU、主記憶、入出力装置などを多数のユーザで効率よく、かつ矛盾なく運用するための技術について講義する。 さらに、利用者が作成する情報を保存、利用、共有するための技術であるファイル管理および、それらの情報を共有するための分散処理技術の初歩について講義する。	情報対象
	9H270	情報システム概論2	2	2	必修	2	月2 431	福永克己	講義主体で行う。毎回、復習で解いた過去問題の解説を行った後、教科書のポイントをまとめた資料を説明する。	情報対象
	9H280	オペレーティングシステム2	2	2	選択	2	月5 431	非) 児島宏明	インターネット上でのWebシステムやメールシステムなどのサーバ用のオペレーティングシステムで広く採用されているLinuxオペレーティングシステムに関する基本的な知識と利用技術とを学習する。Linuxオペレーティングシステムを使いこなすためには、シェルプログラミングやPerl, PHPなどのスクリプト言語の習得が不可欠であり、このようなプログラミング言語の簡単な利用方法についても学習する。	情報対象
	9H290	技術者倫理と知的財産	2	2	選択	2	木2 431	非) 巽久行	現在の社会と情報処理技術者との関わりについて、主に知的財産権の側面から学習する。 特に、情報処理におけるプログラム開発に関する特許や著作権の問題について具体的な事例を取り上げて解説する。この授業により、プログラムに関係した権利関係を理解し、プログラムの作成・利用に際してのトラブルを回避することができる知識と共に、コンテンツを取り扱う場合のモラルについても習得することを目的としている。講義主体で行う。	情報対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H300	情報理論	2	2	選択	2	木5 431	岡本健	通信，暗号，データ圧縮等，日常で用いられている情報が理論的な側面ではどのような性質や特徴をもっているかを体系的に学習する。また，符号化の例として点字を用いることによって，数字，英語，日本語等の文字が，どのように点字で表現されているかを学ぶ。	情報対象 令和5年度以前 入学者は必修
	9H310	データサイエンス1	2	2	選択	1	火4 431	坂尻正次	Microsoft Excelを用いたデータ処理と統計解析の方法を学ぶ。1年次に履修したデータサイエンス入門1及びデータサイエンス入門2の発展的内容となる。具体的には，VBAを用いたマクロによるデータ処理とExcelを用いた統計解析の手法を習得する。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必
	9H320	データサイエンス 演習1	1	2	選択	1	火4 431	坂尻正次	Microsoft Excelを用いたデータ処理と統計解析の方法を演習する。1年次に履修したデータサイエンス入門1及びデータサイエンス入門2の発展的内容となる。具体的には，VBAを用いたマクロによるデータ処理とExcelを用いた統計解析の手法を演習する。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必
	9H330	データサイエンス2	2	2	選択	2	火4 431	坂尻正次	リレーショナルデータベースの構造を学ぶ。そのうえでMicrosoft Accessを用いたデータベース構築の手法を理解し，その操作方法を習得する。具体的には，データベース構築のためのテーブル・クエリ・フォーム・レポート等の作成方法を理解し，その操作方法を習得する。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必
	9H340	データサイエンス 演習2	1	2	選択	2	火5 431	坂尻正次	リレーショナルデータベースの構造を演習により学ぶ。そのうえでMicrosoft Accessを用いたデータベース構築の手法を理解し，その操作方法を演習により習得する。具体的には，データベース構築のためのテーブル・クエリ・フォーム・レポート等の作成方法を理解し，その操作方法を演習により習得する。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必
	9H350	プレゼンテーショ ン演習	1	2	必修	2	火2 431	小林真	プレゼンテーションの目的や価値、プレゼンテーションを行ううえで必要な技術(話の組み立て方や話し方など)、プレゼンテーションの土台となるコミュニケーションについて学ぶ。 「他者に誤解なく伝達するにはどうしたらよいか」を実際の体験(演習)から考察することで、自己のプレゼンテーション能力や現在および今後の課題を明確化する。	情報対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H360	オフィス情報処理1	2	2	選択	1				情報対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9H370	オフィス情報処理 演習1	1	2	選択	1				情報対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9H380	オフィス情報処理2	2	2	選択	2				情報対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9H385	オフィス情報処理	2	2	選択	2	金4 431	宮城愛美	オフィスにおけるいろいろなデータの処理と解釈の方法，問題解決の手法，計画技法などを学び，オフィス実務に関する情報処理の総合的な学習を行なう。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H390	オフィス情報処理 演習2	1	2	選択	2				情報対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9H395	オフィス情報処理 演習	1	2	選択	2	金5 431	宮城愛美	企業では，様々な場面で「管理」「意思決定」「データの収集」に関する手法を活用して業務を行う。それらのうちの代表的な手法を体験しながら学習する。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H400	経営情報システム 論1	2	2	選必	1	水1 431	堀江則之	本講義では，「経営情報システムの基礎」，「小売業と製造業の経営情報システム」，「電子商取引とビジネスモデル」，「経営情報システムの企画」の4つの観点から経営情報システムの基礎を学ぶ。	情報対象 令和5年度以前 入学者対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H410	経営情報システム論2	2	2	選必	2				情報対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9H415	経営情報システム論	2	2	選択	1	水1 431	堀江則之	本講義では、「経営情報システムの基礎」，「小売業と製造業の経営情報システム」，「電子商取引とビジネスモデル」，「経営情報システムの企画」の4つの観点から経営情報システムの基礎を学ぶ。	情報対象 令和6年度以降 入学者対象
	9H420	人材マネジメント1	2	2	選択	1	月2,3 (隔週) 431	非) 榎本哲也	企業、社会、人におけるマネジメントの基本と原則についてテキストを通して学ぶ。また、講師、生徒同士のコミュニケーションを積極的にとれるよう、講義後の意見・感想をメールで提出。15コマの間に別途ZOOM等のオンラインで個別にコミュニケーションを取る時間を設けるのでそれに参加すること。	情報対象
	9H430	人材マネジメント2	2	2	選択	2	水3,4 (隔週) 431	非) 板谷和代	稲盛和夫の【働き方】は、人は「なぜ働くのか」，「いかに働くのか」を説いた，いわば稲盛哲学の本である。稲盛氏による自らの経験とその時々思い，気づきを知ることは，働くことは苦難や挫折を克服できることであるばかりか，想像もしなかったような新しい未来へと繋がる。授業を通じて，「働く」ことの意義を深め，素晴らしい人生のきっかけ創りをする。 また，よりよく働くためには，ビジネスを取り巻く環境を知り，ビジネス社会への適応準備が必要である。そこで，対人能力，対自己能力，対課題能力に結び付くビジネス社会における基本的知識，スキルを学ぶことで，働く自分をイメージすることができるようにする。	情報対象
	9H440	簿記会計論1	2	2	選択	1	水3 431	非) 岡庭晃二	財務諸表作成の技術である複式簿記の基本原則を，体系的，総合的に学習する。特に，仕訳の意義を理解し，基本的な仕訳を，自ら作成できるようになることを目指す。 また，重要な財務諸表である，貸借対照表と損益計算書の構造，構成項目を学習することにより，それぞれが，企業をとりまく利害関係者にどのような情報を提供するかを理解する。	情報対象

専門教育系科目

(9) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H450	簿記会計論2	2	2	選択	2	月3 431	非) 岡庭晃二	財務会計の基礎的理論を体系的、総合的に学習する。財務会計の目的を十分に理解したうえで、特に、わが国の制度会計の概要、会計公準、企業会計原則における一般原則について理解を深める。資産、負債、資本、純資産の意義、各論について学習し貸借対照表項目の、全体像を理解する。期間損益計算の本質を損益計算の基本原則及び、多段階的利益概念の理解を通じて学習する。	情報対象
	9H460	総合情報システム 特別実習A	1 又 2	2	選択	通年	集中 学外	情報システム 学科全教員	担当教員の指導の下、企業や国立研究機関等での実習を行う。事前準備・実習・報告レポート作成などの実務経験を通じて、職場で必要となる各仕事における基本知識の獲得と実務経験の習得を目指す。あわせて自らの障害に対する補償技術の実社会における有効性や可能性を評価し、確認する。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必・ 2単位
	9H470	データベース	2	2	選必	2				情報対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	9H480	キャリア開発	1 又 2	2	選択	1	木1 431 Teams	竹下浩	講義と演習で、生涯にわたる「職業生活」に必要な、行動マネジメント能力を獲得します。心理学や経営管理の理論と社会制度を理解するだけでなく、現実の状況を把握し、自分自身の可能性を開発出来ます。事務系職種志望者だけでなく、エンジニアにも役立ちます。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必・ 1単位
	9H490	多変量解析	2	2	選択	2	火3 431	関田巖	多変量データを解析的に求める手法を学ぶ。機械学習やパターン認識の基礎となる手法である。多次元データの基本統計量を求められるようになる。また、多次元データをベクトルや行列で表現することにより、簡潔な表記で理解できることを目指す。簡単な例題を用いて具体的に理解し、学んだ手法を利用できるようにする。Pythonプログラムにより、データ処理をおこないながら学ぶ。Google Colaboratoryを活用する。数学的な知識は、必要になったときに、その都度復習する。	情報対象 令和5年度以前 入学者は選必

開設授業科目

令和5年度以前入学者対象科目一覧

(3～4年次対象科目)

教養教育系科目
(1) 健康・スポーツ教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
健康 スポーツ 教育科目	5H140	健康・スポーツ5	1	3	選択	1	水3 体育館 グラウンド プール	香田泰子 天野和彦	アダプテッド・スポーツ種目を含め、既存のスポーツ種目や形態にとらわれることなく、受講者全員が等しく参加でき、かつ楽しさを享受できるように、スポーツ種目の選択、ルールの変更、用具の工夫、および実践方法を学修し、スポーツ環境の変化に応じて参加形態や実践内容を工夫できる能力を養う。	
	5H150	健康・スポーツ6	1	3	選択	2	水4 体育館 他	香田泰子 ◎天野和彦	自分の身体をデザインするという観点から、自分自身がおかれているライフスタイルやライフステージにあわせた目標の設定および実践内容のプログラミングを学習し、それを自らの生活の一部として習慣化して実践できる能力を養う。	
	5H200	シーズンスポーツA	1	3 又は 4	選択	1	集中 316 学外	香田泰子 天野和彦 学外指導者 他	学内外の施設を利用して集中形式で行う。普段体験できないスポーツを実践してスポーツ技能の獲得を図るとともに、生涯スポーツとして実践する能力を養う。自然の中で活動する上での知識や行動原則を身につけ、自己の安全に対する配慮や活動中の事故予防について学習する。また、ルールやマナー、エチケットも学習する。本科目ではフリークライミングを実施する。フリークライミングの仕組みや様々な登り方、正しい用具の使い方を学習する。また、この体験を通して、視覚障害者のアウトドア活動としてのフリークライミングを自己の生涯スポーツとして位置づけていく。	夏季休業中実施 3日間 詳細は後日掲示
	5H210	シーズンスポーツB	1	3 又は 4	選択	1				令和7年度開講 せず

専門教育系科目

(2) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H290	微生物学・免疫学	2	3	選択	1	水2 217	横田千津子	感染症の原因となる細菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス、真菌、原虫などの微生物の種類と特徴を把握する。各種微生物の病原性因子と宿主側因子を理解し、疾病の成り立ちを学ぶ。一方で、生体反応の免疫機構を理解するために、抗原と抗体ならびにリンパ球との関係、免疫グロブリンによる液性免疫とT細胞を主体とする細胞性免疫、免疫応答、免疫担当細胞の役割、アレルギーについても学習し、感染・発症・免疫のメカニズムを修得する。	鍼灸・理学対象
	6H360	疼痛学	1	3	選択	2	火5 227 物療	松井康 中村直子 木村健作	痛み、痛みへの対応について講義する。 特に痛みのメカニズムと痛みに対する運動療法及び治療法について講義する。 運動と痛み、急性痛と慢性痛について講義する。	理学対象
	6H450	実用英語1	1	3	選必	1	火3 414	小林ゆきの	これからTOEIC受験を考えている学生に向けた授業である。TOEICの概要、情報補償の解説をはじめ、問題演習を通して、文法事項の見直しを行い、語彙力・リスニング力を強化していく。TOEICは、問題形式を知り、それに慣れることで、あるところまでは比較的点数が上がりやすい。しかし、それ以上に高得点を狙うならば、小手先のテクニックでは太刀打ちできない。本授業では、TOEICの問題形式に慣れながらも、英語の本質的な力を付けていけるよう授業を進めていく。	情報対象
	6H460	実用英語2	1	3	選必	2	火5 414	小林ゆきの	「実用英語1」に続けて、これからTOEIC受験を考えている学生に向けた授業である。TOEICの概要、情報補償の解説をはじめ、問題演習を通して、文法事項の見直しを行い、語彙力・リスニング力を強化していく。TOEICは、問題形式を知り、それに慣れることで、あるところまでは比較的点数が上がりやすい。しかし、それ以上に高得点を狙うならば、小手先のテクニックでは太刀打ちできない。本授業では、TOEICの問題形式に慣れながらも、英語の本質的な力を付けていけるよう授業を進めていく。なお、「実用英語1」とは異なる問題を扱っていく。	情報対象

専門教育系科目
(2) 専門基礎・専門教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門基礎・専門教養教育科目	6H500	代数学2	2	3 又は 4	選必	1	月5 414	田中仁	行列式，n次行列の対角化、計量ベクトル空間、対称行列の対角化、ジョルダンの標準形等のテーマを通じて，代数学1に引き続き，数学における論理的な表現法や証明法を基礎から学修する。	
	6H520	幾何学2	2	3 又は 4	選必	通年	集中 536	金堀利洋	与えられた単体の集合が単体複体であるかどうか、判定できるようになること。 単体近似定理の正確な内容と意義を理解すること。 与えられた単体複体のホモロジー群が計算できるようになること。 簡単な位相空間の基本群が計算できるようになること。 これらを踏まえ、位相幾何学の理解を深める。	詳細は後日提示
	6H540	解析学2	2	3 又は 4	選必	2	集中 414	田中仁	微分学・積分学の厳密な構築のための $\varepsilon-\delta$ 論法を学修する。 常微分方程式の初等解法および解の存在と一意性の定理を学修する。 面積・体積について，完全性の視点から考察する。	
	6H560	確率・統計2	2	3 又は 4	選必	通年	集中 431 536	金堀利洋	確率・統計1で学んだ、規分布に基づく統計手法を、確率・統計2では、t検定に始まり、より実践的な統計学の基本的考え方と概念に広げ、実社会で使われる統計手法を学ぶ。また、論理の展開・定理の証明のみならず、実際のデータを扱い、統計ソフトウェアを使用しながらデータの統計処理ができるようになることを目指す。	詳細は後日提示

専門教育系科目
(3) 専門臨床教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門臨床教育科目	7F110	臨床医学総論	2	3	必修	1	火5 講堂314 他	鮎澤聡	現代医学においては患者の訴えならびに症候から、病歴聴取、理学的検査、臨床検査、診断、そして治療というプロセスをとる。鍼灸治療や理学療法においても適切かつ有効・安全な施術・施療のために現代医学における診断学・治療学の基本的な知識が必須である。本科目においては、まず臨床検査法について学び、臨床検査の意義や適応、検査データの読み方について習得する。つぎに代表的な症候について、病態生理、診察方法、診断のために必要な理学的検査ならびに臨床検査法を学ぶ。最後に、治療法の総論および主要な治療方法について学ぶ。 第4回以降の講義はPBLチュートリアル形式で行う。学生はあらかじめ配布されるプレシナリオについて予習をする。講義においてはシナリオに沿って学生自らが司会をしてグループ・ディスカッションを行い、診断を導いていく。また問題点・疑問点などを抽出しそれについてグループ・個人で復習する。毎回の講義の前に前回のシナリオについてグループで発表を行う。自学自習が基本とされる。	鍼灸・理学対象
	7F120	臨床医学特論	2	3	鍼灸必修 理学選択	2	金5 他 臨床	◎鮎澤聡 酒井俊 白岩伸子 非) 上前泊功 非) 重光貞彦 非) 高橋伸二 非) 平岡孝浩	耳鼻咽喉科学、眼科学、皮膚科学、産婦人科学、救急医学、腫瘍学、麻酔科学を学ぶ。メニエール病、扁桃炎、中耳炎、結膜炎、緑内障、白内障、女性のライフサイクル、更年期障害、骨粗しょう症、月経の異常、子宮癌、子宮筋腫、人工呼吸法、止血法、包帯法、ショック、心臓発作、熱傷、中毒、凍傷の救急処置、腫瘍性疾患、蘇生法、麻酔の種類、痛みのメカニズム、ペインクリニックなどについて講義形式で学習する。	鍼灸・理学対象
	7F150	内科学2	2	3	必修	1	月3 臨床	酒井俊	一般的な内科疾患について、その原因、疫学、症状、予後、治療法を学習する。 内科学1と合わせて内科学全般について学ぶ。各回において、提示されたキーワードの疾患について、その概念、病態生理、診断を中心に理解する。さらに治療法や予後についても学ぶ。	鍼灸・理学対象
	7F160	内科学演習	1	3	鍼灸必修 理学選択	1	月4 217	酒井俊	循環器系、呼吸器系、消化器系、腎泌尿器系、血液疾患、膠原病・アレルギー性疾患、の各内科疾患について症例検討を行い、各疾患の原因、疫学、症状経過、診断法、治療法について演習方式にて実践的に学習する。	鍼灸・理学対象

専門教育系科目

(3) 専門臨床教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門臨床教育科目	7F220	老年医学	1	3	選択	2	木2 227	酒井俊	老化の及ぼす身体の変化と疾患について講義し，老年病を包括的に理解し，その予防と治療およびその社会的な意義を知る。老化の生物学，加齢に伴う変化，高齢化社会の医療問題。老化と老年病，運動機能，感覚機能，精神機能，自律神経機能の加齢変化，老年症候群について学習する。老化と以下の各臓器別の老年疾患（神経疾患，精神疾患，循環器疾患，呼吸器疾患，消化器疾患，骨・運動器疾患，内分泌・代謝疾患，血液疾患，腎疾患，泌尿器疾患，免疫疾患，皮膚疾患，眼・耳鼻咽喉科・口腔疾患，感染症）について学習する。	鍼灸・理学対象 令和5年度以前 入学者対象 令和7年度開講 せず
	7F230	臨床医学診察法演習	1	3	必修	1	月5 臨床 351 遠隔	白岩伸子	現代医学においては，患者の訴えならびに症候から，病歴聴取，理学的検査，臨床検査，診断，そして治療というプロセスをとる。本科目ではそのうち病歴聴取（医療面接）ならびに理学的検査について学ぶ。病歴の取り方，頭部・顔面・頸部，腋窩，肺，胸郭，心臓・血管系，腹部，肩・背部・脊柱，四肢，神経学的検査などの診察の進め方について実践的に学習する。	鍼灸対象
	7F240	リハビリテーション医学	2	3	必修	2	木4 臨床	未定	外傷や疾病によって引き起こされる後遺障害の問題を対象とするリハビリテーション医学の理念，障害の概念，様々な障害に対する評価や治療方法，関連する社会資本・制度の活用方法などを修得する。また，代表的疾患に対して行われているリハビリテーションの基本的な考え方を理解し，健康の維持増進に関する指導方法を修得する。	鍼灸・理学対象
	7F260	運動学概論	1	3	必修	1	火1 217	中村直子	人間の身体運動について運動の基本要素、力学、四肢と脊柱の運動、歩行および姿勢、各種反射、について講義を行う。	鍼灸対象
	7F270	精神医学	2	3	必修	2	水5 遠隔	非) 杉岡良彦	精神医学の基礎知識について学習する。精神医学概論，精神科診断学，精神症候学，統合失調症，気分障害，神経症，心身症，パーソナリティ障害，認知症，児童期・青年期精神障害，治療，精神科治療，精神保健，学校保健に関する医学的知識を習得する。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職 履修者は「必修」

専門教育系科目

(3) 専門臨床教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門臨床教育科目	7F280	スポーツ医学実習	1	3	鍼灸 選択 理学 必修	1	火2 一部集中 の可能性あり 講堂	香田泰子 松井康	スポーツには、健康を維持・増進させる効果がある一方で、外傷・障害・疾病を引き起こすことがある。スポーツが健康に及ぼす影響、スポーツを原因とする病態に関する基礎的な考え方、スポーツによる外傷・障害・疾病の予防・早期発見・救急処置・治療方法・リハビリテーション、競技復帰などを理解することによって、スポーツを健康的に実施するための指導方法を修得する。	鍼灸・理学対象 「保健」の教職 履修者は「必修」
	7F310	画像診断学	1	4	必修	1	集中 224 臨床	非) 吉田次男	画像診断学の基礎的なことを含め、画像検査の種類や、原理、方法、適応について述べ、またなるべく多くの具体的疾患の画像を交えながら講義する。	理学対象 詳細は後日掲示
	7F320	言語聴覚療法学概論	1	4	選択	通年	集中 運動 224	非) 野本恵司	人口の高齢化により、終末期の医療が重要性を増している。食物を自力で摂取できることは、人生の最後を迎える高齢者のQOLを高める重要な要素である。ここでは嚥下の仕組み、摂食と嚥下障害について学習する。また嚥下リハビリテーションについて学習する。	理学対象 詳細は後日掲示
	7F330	臨床運動学	1	3	必修	1	水5 運動 物療	杉田 洋介	運動学的視点に立った評価・分析方法を考え、応用できるようにする。臨床で遭遇する機会の高い「息切れ」について、生理学的見地から理解して解決方法を導出できるようにする。	理学対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F110	医療概論	1	3	必修	2	水3 237	櫻庭陽	本邦における医療・介護、福祉の概要を把握します。さらに、これらのシステムや健康に関する施策、医療の安全や倫理などについて包括的に学びます。これらの学習を通して、鍼灸あん摩マッサージ指圧の役割や社会に貢献できることについて考えます。	鍼灸対象
	9F120	鍼灸関係法規	1	3	必修	2	水3 237	櫻庭陽	医療従事者を目指す者として必要な医療・介護、福祉に関する制度や法の概要を学びます。また、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の関係法規については、最低限の知識として国家試験に出題される程度の内容を身につけられるように学習します。	鍼灸対象
	9F130	鍼灸手技社会学A	2	4	必修	1	水3 237	近藤宏	鍼灸・手技を取り巻く少子高齢社会の現状や今後の課題を概観した上で社会保険制度を中心に社会保障制度の概要を学び、医療保険、介護保険等の中の鍼灸手技療法の位置づけ、健康保険の療養費の仕組みや運用の実際、業の現状と課題などの領域について、統計や研究知見を踏まえて学習する。第11回、14回、15回の講義についてはアクティブラーニング型授業により実施する。	鍼灸対象
	9F140	鍼灸手技社会学B	2	4	必修	2	月5 436	嶋村幸仁	鍼灸あん摩マッサージ指圧院の起業に際して、経営学の理論を具体的に・実践的に学び、企業家として必要な知識、習得を行う。また、技術と経営の融合を図ることはどのようなことなのか、「戦略」「競争」「差別化」「マーケティング」のキーワードに対して、実現可能な計画を作り、ビジネスとして通用するビジネスプランを作成し、発表する。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F210	東洋医学臨床論1	2	3	必修	1	木4 217 116	非) 玉井伸典 石崎直人	・各症候や疾患を現代医学的に理解するために、解剖学や生理学の知識を確認する。 ・各症候や疾患について、臨床医学各論で学んだ知識を確認する。 ・各症候や疾患を東洋医学的に考察する。 ・東西両医学を統合して鍼灸手技による治療計画を組み立てる方法を学ぶ。 ・効率的な学習の推進を図るために、授業前に課題を与え、授業中に発表させる。	鍼灸対象
	9F220	東洋医学臨床演習1	1	3	必修	1	木5 217 鍼灸統合	非) 玉井伸典 石崎直人	東洋医学臨床論1で学習した各症候・疾患について東西統合医学の立場で鍼灸手技治療を実践できるようにさらに学習を深める。また、適宜実技を加える。	鍼灸対象
	9F230	東洋医学臨床論2	2	3	必修	2	火3 集中 217	松田えりか	・我が国の鍼灸手技療法は、アジアあるいは欧米の各地域や文化圏に起源を持つ伝統医療であると共に、現代においては基礎、臨床、社会に基盤をおく現代医療の一分野として発展してきている。特に、医療・保健のチームアプローチの立場からは補完・代替医療としての期待が高い。このように各分野・各領域に分断されている鍼灸手技療法のニーズや治療力を統合（Integration）して最適化するために、患者（症候別・疾病別）や利用者（分野別）を中心にすえて臨床論を展開する。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F240	東洋医学臨床演習2	1	3	必修	2	火4 集中 217 116	松田えりか	東洋医学臨床論2で学習した内容を基に、実際的な想定をして実習を行う。内容は、望聞問切を中心とした臨床検査、証の決定を中心とした臨床評価、取穴を含む治療部位の決定、補瀉を中心とした刺鍼と施灸の実際を学習する。	鍼灸対象
	9F250	あん摩マッサージ指圧理論	2	3	必修	2	水1 217	近藤宏	手技療法による刺激が生体にどの様に作用し、どのような反応が起こるのか。期待できる治療効果はどのようなものかについて学習する。主な内容は、手技療法の基礎、刺激の伝達、刺激と反応、手技療法刺激の身体組織・器官への影響、手技療法の効果に関する学説等である。	鍼灸対象
	9F260	はりきゅう理論	2	3	必修	2	月5 217	非) 小堀孝浩	鍼灸による刺激が生体にどう作用し、どのような反応が起こるのか。どんな治療効果が期待できるかについて学習する。主な内容は鍼灸療法の基礎、臨床応用、リスク管理、鍼灸治効の基礎、鍼灸療法の一般治効理論、鍼灸療法の治療効果に関連する学説等である。	鍼灸対象
	9F310	鍼灸手技応用実習1	1	3	必修	1	集中 116	松田えりか 非) 玉井伸典	臨床実習の前段階として、臨床を踏まえて、病態を把握するための基本的な診察から治療までの基礎を実習（アクティブラーニング型授業）により学習する。学生は、病態を仮定して、互いの体に練習を行う。腰殿部（5回）、頸肩腕部（肩関節含む）（5回）、膝部・下肢（5回）の症候に対する治療学を学び、実習する。	鍼灸対象
	9F320	鍼灸手技応用実習2	1	3	必修	2	火3 集中 116	○石崎直人 松田えりか 非) 玉井伸典	臨床実習の前段階として、臨床を踏まえて、病態を把握するための現代医学的・東洋医学的診察から治療までの基礎を実習により学習する。学生は、病態を仮定して、互いの体に練習を行う。 全身の症候（3回）、呼吸器系（2回）、消化器系（3回）、泌尿生殖器系（2回）、顔面部（3回）、老年医学（2回）に対する治療学を学び、実習する。	鍼灸対象

専門教育系科目
(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸手 技教育 科目	9F330	臨床前実習	1	3	必修	1	水1 臨床 統合	笹岡知子	この授業では、医療者に求められる問題解決型思考およびその解決能力の基礎と、医療情報の取り扱い（診療情報の記録法も含む）について学ぶ。講義並びにグループディスカッション、実際の症例を元に作られたシナリオを使ってのロールプレイを通して、診療で必要な情報の種類や質について、また、様々なバックグラウンドを持つ患者さんや他の医療者とのコミュニケーション（技法）についても学習する。	鍼灸対象
	9F340	臨床実習1	4	3	必修	2	月3,4 火3,4 木3,4 金3,4 集中 鍼灸 統合	○笹岡知子 鮎澤聡 石崎直人 白岩伸子 近藤宏 福島正也 松田えりか 櫻庭陽 成島朋美 酒井俊	「臨床実習のてびき2024」に示される次の事項を確認して学習をすすめる。 1. 学習グループ（医療センター，模擬臨床実習） 2. スケジュール 3. 実習場所 4. 学習方法 第1回授業では，シラバス及び配付資料「臨床実習のてびき2024」を用いたオリエンテーションを受ける。その後，てびきにあるスケジュールに従い学習をすすめる。スケジュールは自らの学習進度や学習段階（ラダー）を認識して学んでいく。また上下のラダーにいる学生や研修生との学習交流を積極的に行いながら自主的に学んでいく。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸手 技教育 科目	9F350	臨床実習2	4	4	必修	1	月3,4 火3,4 木3,4 金3,4 集中 鍼灸 統合	○福島正也 石崎直人 近藤宏 笹岡知子 櫻庭陽 成島朋美 松田えりか 非) 野口榮太郎	1. 学外患者および学内患者を対象とした鍼灸手技療法の臨床実習を実施する。現実的な臨床の場面を想定し、あんま施術と鍼灸施術を組合せ、より効果的な施術を安全に行うことを目標とする。臨床的な総合能力の到達度や必要性に応じて学修課題が設定される。 2. 東西医学統合医療センター施術部門における鍼灸臨床の現場に参加し、個々の学生の到達度に応じた、実践または見学による実習を行う。教員の元で、患者の診察、初期計画の立案、経過観察、効果判定、継続的な鍼灸治療、医療連携について学ぶ。 3. 手技鍼灸実習棟および東西医学統合医療センターの患者を対象とした臨床実習の内容や課題をフィードバックさせた実践的な臨床技能について学ぶ。 1～3のすべてを通じ、学習者が主体的に実習に参加するアクティブ・ラーニングとなる。 また、1、2は、患者への実際の施術や医療現場での実習を通じた体験型学修の機会となる。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F360	臨床実習3	4	4	必修	2	月3,4 火3,4 木3,4 金3,4 集中 鍼灸 統合	○福島正也 石崎直人 近藤宏 笹岡知子 櫻庭陽 成島朋美 松田えりか 非) 鈴木一	1. 学外患者および学内患者を対象とした鍼灸手技療法の臨床実習を実施する。現実的な臨床の場面を想定し、あんま施術と鍼灸施術を組合せ、より効果的な施術を安全に行うことを目標とする。臨床的な総合能力の到達度や必要性に応じて学修課題が設定される。 2. 東西医学統合医療センター施術部門における鍼灸臨床の現場に参加し、個々の学生の到達度に応じた、実践または見学による実習を行う。教員の元で、患者の診察、初期計画の立案、経過観察、効果判定、継続的な鍼灸治療、医療連携について学ぶ。 3. 手技鍼灸実習棟および東西医学統合医療センターの患者を対象とした臨床実習の内容や課題をフィードバックさせた実践的な臨床技能について学ぶ。 1～3のすべてを通じ、学習者が主体的に実習に参加するアクティブ・ラーニングとなる。 また、1、2は、患者への実際の施術や医療現場での実習を通じた体験型学修の機会となる。	鍼灸対象
	9F370	臨床評価学	2	3	必修	1	金1,2 116	福島正也	鍼灸手技療法に必要とされる評価技法に関する知識と技術を学ぶ。本授業は、必要に応じ、評価法の実践等のアクティブ・ラーニングを取り入れながら進行する。	鍼灸対象
	9F380	総合演習1	2	3	選択	2	集中 237	○3年担任 加藤一夫 鮎澤聡 石崎直人 白岩伸子 近藤宏 志村まゆら 福島正也 笹岡知子 松田えりか	3年次における国家試験対策科目である。鍼灸・手技療法に関する総合的な知識をグループワークなどの演習方式にて学習する。また、模擬試験を実施する。3年次1学期までに学習した内容を中心に国家試験科目について学習する。	鍼灸対象

専門教育系科目
（4）専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F390	総合演習2	2	4	選択	1	集中 未定	○4年担任 加藤一夫 鮎澤聡 石崎直人 白岩伸子 近藤宏 志村まゆら 福島正也 笹岡知子 松田えりか	重点的な国家試験対策が必要な学生を対象とした、4年次における国家試験対策科目である。鍼灸・手技療法に関する総合的な知識を演習方式にて学習する。	鍼灸対象
	9F400	総合演習3	2	4	選択	2	集中 未定	○4年担任 加藤一夫 鮎澤聡 石崎直人 白岩伸子 近藤宏 志村まゆら 福島正也 笹岡知子 松田えりか	重点的な国家試験対策が必要な学生を対象とした、4年次における国家試験対策科目である。鍼灸・手技療法に関する総合的な知識を演習方式にて学習する。	鍼灸対象

専門教育系科目
(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F410	総括講義1	4	4	必修	1	月1,2 火1,2 水1,2 木1,2 金1,2 217 237 臨床	○4年担任 加藤一夫 鮎澤聡 石崎直人 白岩伸子 近藤宏 志村まゆら 福島正也 笹岡知子 松田えりか	鍼灸あん摩マッサージに必要な基礎領域の知識について総合的に整理し、多くの問題を解答しながら自らの学力を把握し、不足している知識に関して、学習計画を立案する。さらに知識と技術習得のための課題に取り組む。	鍼灸対象
	9F420	総括講義2	4	4	必修	2	月1,2 火1,2 水1,2 木1,2 金1,2 217 237	○4年担任 加藤一夫 鮎澤聡 石崎直人 白岩伸子 近藤宏 志村まゆら 福島正也 笹岡知子 松田えりか	鍼灸あん摩マッサージに必要な基礎および臨床領域の知識について総合的に整理し、多くの問題を解答しながら自らの学力を把握し、不足している知識に関して、学習計画を立案する。さらに知識と技術習得のための課題に取り組む。	鍼灸対象
	9F460	マッサージ基礎実習	1	3	必修	1	月1 116	近藤宏	マッサージ実技の基礎を実習（アクティブラーニング型授業）により学習する。 臨床実習の前段階として、全身各部の基礎的な医療マッサージ法を実習により学習する。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸手 技教育 科目	9F470	運動療法実習	1	3	選択	2	集中 116	近藤宏 非) 藤井亮輔 井口正樹 三浦美佐 中村直子 松井康	医療機関，介護保健施設，在宅ケア等の領域で展開される運動療法について，その意義，目的及び適応と禁忌について概説するとともに，機能訓練指導に活用できる能力と基本的態度が身につくよう，理学療法学専攻教員との連携を図りながら，実践的指導（アクティブラーニング型授業）を展開する。	鍼灸対象
	9F480	ゼミナール1	1	3	選択	1	集中 研究室 131 116 鍼灸 他	○石崎直人 加藤一夫 鮎澤聡 志村まゆら 白岩伸子 近藤宏 福島正也 笹岡知子 松田えりか	少人数教育による医学（基礎、臨床）、鍼灸マッサージ、健康科学等に関する高度な知識・技術の習得、研究成果のプレゼンテーションとして活動の拠点となる。主に指導教員が提供する専門領域の内容について、基礎研究あるいは臨床研究等に関連した基礎的な学習を行う。特にゼミナール1では、一人ひとりの関心に沿ったテーマを探求する。修学基礎等で学んだ図書館の利用法や文献検索の方法を活用し、テーマに関連する文献や資料収集を行う。教員の指導のもと、研究方法の基礎を学ぶ。アクティブラーニング型授業により実施する。	鍼灸対象
	9F490	ゼミナール2	1	3	選択	2	集中 研究室 131 116 鍼灸 他	○石崎直人 加藤一夫 鮎澤聡 志村まゆら 白岩伸子 近藤宏 福島正也 笹岡知子 松田えりか	少人数教育による医学（基礎、臨床）、鍼灸マッサージ、健康科学等に関する高度な知識・技術の習得、研究成果のプレゼンテーションとして活動の拠点となる。主に指導教員が提供する専門領域の内容について、基礎研究あるいは臨床研究等に関連した基礎的な学習を行う。特にゼミナール3では、研究テーマに則して調査や実験等を行い、得られたデータや資料から自分の考えをまとめ、討論を通して他の意見を受け入れることを学ぶ。対話を繰り返しながら、よりよい考えを導く。アクティブラーニング型授業により実施する。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸手 技教育 科目	9F500	ゼミナール3	1	4	選択	2	水5 集中 研究室 131 116 鍼灸 他	○石崎直人 加藤一夫 鮎澤聡 志村まゆら 白岩伸子 近藤宏 福島正也 笹岡知子 松田えりか	少人数教育による医学（基礎、臨床）、鍼灸マッサージ、健康科学等に関する高度な知識・技術の習得、研究成果のプレゼンテーションとして活動の拠点となる。主に指導教員が提供する専門領域の内容について、基礎研究あるいは臨床研究等に関連した基礎的な学習を行う。特にゼミナール3では、研究テーマに則して調査や実験等を行い、得られたデータや資料から自分の考えをまとめ、討論を通して他の意見を受け入れることを学ぶ。対話を繰り返しながら、よりよい考えを導く。また自身の研究内容をまとめ、プレゼンテーションする技術を養う。アクティブラーニング型授業により実施する。	鍼灸対象
	9F510	研究演習（プレゼンテーション）	1	4	選択	1	集中 237 講堂	○石崎直人 加藤一夫 鮎澤聡 志村まゆら 白岩伸子 近藤宏 福島正也 笹岡知子 松田えりか	ゼミナールとの連携で、ゼミナールで行った研究内容に対して発表資料を作成し、発表する。 なお、発表は、臨床演習（カンファレンス）（臨床実践コース）の発表と一緒にを行う。アクティブラーニング型授業により実施する。	鍼灸対象
	9F520	保健科学特別研究	2	4	選択	2	集中 未定	○石崎直人 加藤一夫 鮎澤聡 志村まゆら 白岩伸子 近藤宏 福島正也 笹岡知子 松田えりか	ゼミナール1～3で実施した研究成果について、論文を作成する。教員の指導のもとに、論文の執筆等の実際について学習する。研究の背景、目的、方法、結果、考察、今後の課題や結語等についてまとめて論文を作成する。	鍼灸対象

専門教育系科目
（4）専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸手 技教育 科目	9F530	マッサージ応用実 習	1	4	選択	1				鍼灸対象 令和7年度開講 せず
	9F540	鍼灸安全学	1	3	選択	1				鍼灸対象 令和7年度開講 せず
	9F550	専門英語	1	4	選択	1	集中 237	石崎直人 笹岡知子	鍼灸手技関連の基本的な用語の英語表現を理解した上で、臨床で活用できるベッドサイドの英語表現について学ぶ。また、英文の鍼灸手技関連情報へのアクセス方法の実際について学び、必要な情報を得るためのポイントについて学ぶ。	鍼灸対象
	9F560	学外施設実習	2	3	選択	1	集中 学外	近藤宏 鍼灸系教員	卒業後の就職先を考察する手がかりとなるインターンシップ科目の実習（アクティブラーニング型授業）で展開する。鍼灸あん摩マッサージ指圧の免許を取得して就職する場合の代表的な施設である病院や施術所、※ヘルスキーパー採用企業、介護老人福祉施設および在宅ケア関連施設等の外部施設における見学・実習。教員志望者については、他の鍼灸大学、教員養成施設の見学を行う。学生が希望する就職先を考慮して、数力所の実習施設が担当教員との面談により設定される。（※ヘルスキーパー：企業内鍼灸マッサージ師）	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F570	鍼灸手技特別演習1	1	3	必修	通年	集中 116 鍼灸	石崎直人 非) 佐々木孝浩 非) 戸ヶ崎正男 非) 皆川陽一	【鍼通電療法（佐々木）】鍼通電療法の概要と基礎を学んだ上で、臨床における応用技術を修得する。 【経絡あん摩（戸ヶ崎）】経絡あん摩の基礎を学んだ上で、手技の基本を修得する。 【トリガーポイント療法（皆川）】トリガーポイント療法の基礎を学んだ上で、手技の基本を修得する。	鍼灸対象
	9F580	鍼灸手技特別演習2	1	4	必修	通年	集中 116 鍼灸	石崎直人 非) 伊藤徳也 非) 皆川陽一	各種特殊鍼灸手技療法について、外部の専門家を招いて演習を行う。各種療法の概要と基本について講義を受けた上で、実演と実技を通して学ぶ。 特殊手技療法1では現場で必要とされる手技療法、特殊手技療法2では指圧・矯正の実際について、それぞれの専門領域で実践している講師に学ぶ。	鍼灸対象
	9F590	臨床実習6	4	3	選択	1	集中 統合 学外	○石崎直人 近藤宏 福島正也 笹岡知子 櫻庭陽 松田えりか	手技鍼灸実習棟および東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実際を学習する。	編入生対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸手 技教育 科目	9F600	臨床実習7	4	3	選択	2	集中 統合 学外	○石崎直人 近藤宏 福島正也 笹岡知子 松田えりか 櫻庭陽 成島朋美	手技鍼灸実習棟および東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じ、実践あるいは見学学習する。 教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実践を学習する。	編入生対象
	9F610	臨床実習4-A	2	4	選択	1	集中 統合 他	笹岡知子 成島朋美	・東西医学統合医療センター鍼灸外来や手技外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加する。 ・教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価・考察と、それをふまえた継続的施術の実践を学習する。 ・その他、状況に応じて、臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象 履修する場合は、事前（3月中）に担当教員に申し出ること。
	9F620	臨床実習4-B	2	4	選択	1	集中 統合 他	櫻庭陽 近藤宏	・東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 ・教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実践を学習する。 ・その他、状況に応じて、臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門 鍼灸 手技 教育 科目	9F630	臨床実習4-C	2	4	選択	1	集中 統合 他	櫻庭陽 成島朋美	・東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 ・教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実際を学習する。 ・その他、状況に応じて、臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象
	9F640	臨床実習4-D	2	4	選択	1	集中 統合 他	福島正也 成島朋美 松田えりか	・東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 ・教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実際を学習する。 ・その他、状況に応じて、臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象
	9F650	臨床実習4-E	2	4	選択	1	集中 統合	櫻庭陽 石崎直人	・手技鍼灸実習棟および東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 ・各担当教員の専門領域に特化した外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実際を学習する。	鍼灸対象

専門教育系科目

(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F660	臨床実習5-A	2	4	選択	2	集中 統合 他	笹岡知子 成島朋美	・東西医学統合医療センター鍼灸外来や手技外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加する。 ・教員の元で外来患者の診察，検査を実施し，施術の初期計画の作成，経過観察とその評価，治療法の変更の立案を学習する。 ・その他，状況に応じて，臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象 履修する場合は，事前（3月中）に担当教員に申し出ること。
	9F670	臨床実習5-B	2	4	選択	2	集中 統合 他	櫻庭陽 近藤宏	・東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し，個々の学生の進度に応じて，実践あるいは見学学習する。 ・教員の元で外来患者の診察，検査を実施し，鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と，それをふまえた継続的鍼灸施術の実践を学習する。 ・その他，状況に応じて，臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象
	9F680	臨床実習5-C	2	4	選択	2	集中 統合 他	櫻庭陽 成島朋美	・東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し，個々の学生の進度に応じて，実践あるいは見学学習する。 ・教員の元で外来患者の診察，検査を実施し，鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と，それをふまえた継続的鍼灸施術の実践を学習する。 ・その他，状況に応じて，臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象

専門教育系科目
(4) 専門鍼灸手技教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門鍼灸手技教育科目	9F690	臨床実習5-D	2	4	選択	2	集中 統合 他	福島正也 松田えりか 成島朋美	・東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 ・教員の元で外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実際を学習する。 ・その他、状況に応じて、臨床に必要な鍼灸や手技の技術修得をふまえた実習を集中で行う。	鍼灸対象
	9F700	臨床実習5-E	2	4	選択	2	集中 統合	櫻庭陽 石崎直人	・手技鍼灸実習棟および東西医学統合医療センター鍼灸外来における外来患者への鍼灸施術の現場に参加し、個々の学生の進度に応じて、実践あるいは見学学習する。 ・各担当教員の専門領域に特化した外来患者の診察、検査を実施し、鍼灸施術の初期計画をたてることまでを中心に学習する。 ・症例の経過観察を通じての施術効果の評価と、それをふまえた継続的鍼灸施術の実際を学習する。	鍼灸対象
	9F710	臨床演習（カンファレンス）	1	4	選択	1	集中 統合 講堂 オンライン	笹岡知子	臨床実習2で担当した症例をまとめ、カンファレンス形式で発表を行う。 学生自身で、疾患に関する情報を収集しその疾患に関わる医療の現状についての理解を深められるよう能動的が学習を行う。担当した患者の問題を解決するための最適解を、調べ得た知識を活用し導き出せるようトレーニングする。	鍼灸対象

専門教育系科目

(5) 専門理学療法教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D130	理学療法評価法2	2	2 又は 3	必修	1	木1 集中 227 運動	松井康 小山真吾	理学療法に必要な検査・測定の方法や意義、方法について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。評価の目的、情報の収集と分析、治療プログラム、到達ゴール等の評価の過程、評価の進め方と時期、評価の記録と報告、必要器具、評価実施上の留意点。四肢長、周径計測、関節可動域測定、意識障害、感覚検査などの講義を行う。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年 次は3 令和6年度入学 者の履修年次は 2
	9D140	理学療法評価法2実 習	1	2 又は 3	必修	1	木2 集中 227 運動	松井康 小山真吾	理学療法に必要な検査・測定について原則的な事項を学習し、各種疾患の評価方法の基礎知識と技術を学ぶ。四肢長、周径計測、関節可動域測定、反射検査、知覚検査などの実習を行う。	理学対象 令和5年度以前 入学者の履修年 次は3 令和6年度入学 者の履修年次は 2
	9D170	物理療法	2	3	必修	2	月3 物療 227 水治	新任教員 松井康	温熱療法、超音波療法、寒冷療法、水療法、光熱療法、電気刺激療法、牽引療法、振動刺激法、衝撃波療法等の原理、生理作用、適応・禁忌、治療計画立案、技術、記録、リスク管理、機器の管理について学習する。	理学対象
	9D180	物理療法実習	1	3	必修	2	月4,5 物療 227 水治	新任教員 松井康	温熱療法、超音波療法、寒冷療法、水療法、光熱療法、電気刺激療法、牽引療法、振動刺激法、衝撃波療法等の原理、生理学的作用、適応・禁忌、治療計画立案、技術、記録、リスク管理、機器の管理について修得する。教員によるデモンストレーションの後、学生が互いに治療を実施する演習を行う。	理学対象

専門教育系科目

(5) 専門理学療法教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D190	日常生活活動	2	3	必修	1	金2 運動 111	中村直子	リハビリテーションにおける日常生活活動の概念および基本的な考え方を理解する。日常生活活動、生活関連動作、QOL、疾患別ADLの評価方法を学ぶ。ADL基本動作の評価・指導・介助方法を実践する。	理学対象
	9D200	日常生活活動実習	1	3	必修	2	金3,4 運動 111	中村直子	脳血管疾患、脊髄損傷、パーキンソン病、脳性麻痺、リウマチなど、代表的な疾患における基本的な日常生活活動の方法及びその指導方法を習熟することを目的に実習を行う。	理学対象
	9D215	義肢装具学	2	3	必修	2	金1,2 114 227	佐久間亨 非) 本間優一 非) 大橋義樹 非) 久保匡史 非) 久保田茂希	外傷および疾病に起因する様々な機能障害や活動制限に対して、適切な装具および義肢を用いることにより、患者の機能障害を補い活動能力を高めることが可能である。本講義は福祉用具の一種の装具および義肢に関して、その目的、種類、構造、機能、対象疾患、対象障害、適用、適応など、装具および義肢による理学療法訓練ならびに治療方法の基礎理論を修得する。	理学対象
	9D240	整形外科疾患理学療法学	2	3	必修	1	月1 運動	佐久間亨 松井康	整形外科疾患の理学療法について、疾患の基礎知識,問題点・注意点、必要な情報の収集、測定、評価、統合と解釈、治療目標の設定、治療プログラムの立案・実施・変更等の項目に関して、目的や意義,基本的方法等の原則的な事項を学習する。	理学対象
	9D255	整形外科疾患理学療法学実習	1	3	必修	1	月2 運動	佐久間亨 松井康	整形外科疾患理学療法領域における検査・測定、運動療法、日常生活活動の指導などを実技を通して学び、基本的な評価や治療が実際に行えるように身につける。	理学対象
	9D260	神経筋疾患理学療法学	2	3	必修	1	火1 227	井口正樹	神経筋疾患の理学療法について,疾患の基礎知識,問題点・注意点,必要な情報の収集,測定,評価,統合と解釈,治療目標の設定,治療プログラムの立案・実施・変更等の項目に関して,目的や意義,基本的方法等の原則的な事項を学習する。	理学対象

専門教育系科目

(5) 専門理学療法教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D275	神経筋疾患理学療 法学実習	1	3	必修	1	月4 運動	井口正樹 杉田洋介	神経筋疾患理学療法学で実技が必要となる検査・測定や運動療法，日常生活活動の指導などを実技を通して学び，基本的な評価や治療が実際に行えるように身につける。	理学対象
	9D285	小児疾患理学療法 学	2	3	必修	1	火3,4 運動	中村直子	小児疾患に対する理学療法の基礎を学ぶ。小児の理学療法を学ぶ上で重要な視点は成長・発達の問題が絡んでくるため、正常発達と異常発達を理解する。小児の代表疾患として脳性麻痺、筋ジストロフィー症、二分脊椎、その他の小児疾患の評価と治療プログラム、治療手技について学習する。	理学対象
	9D300	内部障害理学療法 学	2	3	必修	1	月5 227	酒井俊 三浦美佐 小山真吾	呼吸器疾患，心臓病，糖尿病，高血圧，腎臓障害について，病理，種類，発症原因，治療の原則，経過，合併症，問題点，運動の生理作用などの基本的知識を修得する。理学療法を進めるにあたって必要な情報の収集，測定評価の選択，統合と解釈，治療目標設定，訓練治療プログラムの立案などの項目に関する知識を修得する。	理学対象
	9D315	内部障害理学療法 学実習	1	3	必修	2	月2 運動 運動検査 検査室 227	三浦美佐 小山真吾	呼吸器，心臓，血糖値，脈管系に関する測定機器の扱い方や測定方法を理解し，実際に測定する。様々な条件下での呼吸器系，心臓，血糖値等に対する刺激—反応の関係を観察する。運動のエネルギー代謝率，肥満の測り方，体力テストの方法,喀痰吸引法を修得する。これらを通して評価，統合と解釈，治療目標の設定，運動療法プログラムなどの知識を修得する。	理学対象

専門教育系科目

(5) 専門理学療法教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D325	徒手の理学療法学	2	4	選択	通年	集中 運動 物療 541	井口正樹 中村直子 松井康 木村健作 非) 来間弘展 非) 勝浪省三 非) 橋田薫	徒手療法に共通する概念，身体部位別徒手の理学療法について治療手技の基本を習得し，患者への応用を習得する。	理学対象
	9D340	高齢者理学療法学	1	3	必修	2	水3 運動	三浦美佐 小山真吾	運動器系，感覚器系および中枢神経系の老化に基づく運動機能低下，高齢者特有の疾患に基づく運動機能障害や“寝たきり”などによる廃用症候群を予防・改善するための理学療法の基本的な考え方および介護予防リハビリテーションについて修得する。また，それら運動機能の低下および障害に認知症や高次脳機能障害が合併した事例に対する対応方法等についても学習する。	理学対象
	9D360	障害者生活環境論1	1	3	必修	2	火3 運動 物療	三浦美佐 小山真吾	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方と生活の中の問題点について考察し，高齢者や障害者のための住環境整備にあたって，より安全で自立した住まいをおくめるために，どのような整備をすることが大切かを修得する。	理学対象
	9D370	障害者生活環境論2	1	4	必修	1	集中 運動 物療 541	三浦美佐	物的環境と生活動作との関係，リハビリ機器の役割を人間工学的見地から履修する。自立に必要な空間の設備や建築的配慮の必要性について考察し，地域環境・まちづくりを実地検査し，問題点を考える。関連用品などの福祉機器について，その種類，目的，適応，操作法および社会保障制度など，また公共施設の地域環境などの基礎知識を修得する。	理学対象
	9D380	地域理学療法学	2	3	必修	2	火 224 運動	三浦美佐 小山真吾	地域リハビリテーションの本質，活動の基本，在宅リハビリテーションと病院内リハビリテーションの考え方の整理，地域包括ケアの仕組みと制度、実際の活動内容，介護保険と介護予防など様々な視点から地域理学療法を学習する。	理学対象

専門教育系科目

(5) 専門理学療法教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D390	理学療法基礎統計学	2	3	選択	2	火2 536 338 224	金堀利洋	医療分野で必要とされる推測統計学の諸手法と推定・検定の考え方を学び、実験データや論文における統計資料を読み解く力を養う。標本と母集団と統計量の関係を知り、実験計画、データの水準、データの記述、集約とグラフ化、データ分析までの全体的流れを理解する。複数ある検定法から適切な分析法が選択できるようになる。医療分野における統計学利用の際の注意点を知る。エクセルを用いてデータ集計、結果の図示や表示法について演習を行う。	理学対象
	9D400	理学療法研究法	1	4	必修	1	集中 541 研究室 他	理学各教員	理学療法学領域及び関連する学際的領域等において研究することの意義を理解し、基本的な研究方法やその分析の仕方について学習する。具体的には、文献検索、代表的な研究法における実験デザインや、それに付随するデータ処理の方法、さらには、論文作成や学会発表の方法等について修得する。	理学対象
	9D430	総合理学療法演習2	1	3	必修	2	水1,2 集中 541	3年次担任 松井康	2年次までに学んだ理学療法の基礎知識や理学療法に必要な基礎医学及び臨床医学の知識について総合的に整理し、多くの例題を解答しながら検討を加える。整形外科および中枢神経疾患の症例を想定した場面設定において、理学療法の評価および移乗動作の基本的技能および態度が身についているかの実地試験（OSCE）を行う。	理学対象
	9D440	総合理学療法演習3	1	4	必修	2	集中 541	4年次担任 松井康	授業では、問題演習のほか、必要に応じてグループワークや個別学習などを取り入れ、テーマに沿った資料の作成・発表や学習についてのアドバイス・ガイダンスを行う。	理学対象
	9D450	医学英語	1	2 又は 3	選択	1	集中 224	井口正樹	臨床現場におけるカルテ理解や他の医療職とのコミュニケーション、学術誌読解、海外研修等に必要と思われる医学英語に触れ、単語の使い方や読み方を学習する。	理学対象

専門教育系科目

(5) 専門理学療法教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門理学療法教育科目	9D475	臨床実習3	3	3	必修	2	集中 学外	◎松井康 三浦美佐 佐久間亨 他	診療録等からの間接的情報収集や対象者への直接的情報収集を通じて、対象者の状態等に関する評価を実施する。診療チームの一員として加わり臨床実習指導者の指導・監督の下で見学・協同参加の段階を踏みながら実地修練する。	理学対象 春季休業中実施 120時間
	9D485	臨床実習4	7	4	必修	1	集中 学外	◎松井康 三浦美佐 佐久間亨 他	評価実習の内容に加えて、対象者の障害像の把握、治療目標および治療計画の立案、治療実践ならびに治療効果判定を学ぶ。実習生が診療チームの一員として加わり臨床実習指導者の指導・監督の下で見学・協同参加・実施の段階を踏みながら実地修練する。またカンファレンスへの参加など、様々な理学療法業務についても理解を深める。	理学対象 5月より実施 280時間
	9D495	臨床実習5	8	4	必修	通年	集中 学外	◎松井康 三浦美佐 佐久間亨 他	評価実習の内容に加えて、対象者の障害像の把握、治療目標および治療計画の立案、治療実践ならびに治療効果判定を学ぶ。実習生が診療チームの一員として加わり臨床実習指導者の指導・監督の下で見学・協同参加・実施の段階を踏みながら実地修練する。またカンファレンスへの参加など、様々な理学療法業務についても理解を深める。	理学対象 8月より実施 320時間
	9D500	理学療法管理学	1	4	必修	通年	集中 541 運動機能 検査室	三浦美佐 他	理学療法部門と関連組織との関係、理学療法部門の役割について理解を深める。理学療法部門について診療報酬制度などを包括し、少人数職場でも卒後に活躍できるよう、知識を修得する。	理学対象

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H500	情報システム学実験1	3	3	必修	1	木1～3 414	情報システム 学科全教員	卒業論文執筆に向け、情報システム学における研究方法を学びます。情報システム学科教員がオムニバスで担当します。テーマは、教員ごとに設定され、成果発表の方法もテーマごとに設定されます。	情報対象
	9H510	情報システム学実験2	3	3	必修	2	火3～5 414	情報システム 学科全教員	卒業論文執筆に向け、情報システム学における研究方法を学びます。情報システム学科教員がオムニバスで担当します。テーマは、教員ごとに設定され、成果発表の方法もテーマごとに設定されます。	情報対象
	9H520	総合情報システム 特別講義	2	3	必修	2	金3～5 のうち 2コマ 414	関田巖 他	社会の様々な分野で活躍されている方々をゲストスピーカーとして招聘し、障害補償技術を始めとする広い分野に渡り、企業や研究所で行われている情報科学の職場活用に関する最新の研究・開発の動向・トピックスについて講義する。講義後、毎回、レポート課題を課し、授業担当者が講評する。	情報対象
	9H530	総合情報システム 特別研究事前実習	1	3	必修	通年	水4 集中 414	松尾政輝 (3年生担任)	情報システム学科内で行われている卒業研究や教員の研究内容について、各教員ごとにオムニバスで講義する。得られた知見についてレポートにまとめる。3年生のアドバイザー教員の指導の下、研究に必要な知識・技術を学ぶ。	情報対象
	9H550	総合情報システム 特別実習B	2	3	選必	通年	集中 学外	情報システム 学科全教員	担当教員の指導の下、企業や国立研究機関等での実習を行う。事前準備・実習・報告レポート作成などの実務経験を通じて、職場で必要となる各仕事における基本知識の獲得と実務経験の習得を目指す。あわせて自らの障害に対する補償技術の実社会における有効性や可能性を評価し、確認する。	情報対象
	9H560	意思決定法	2	3	必修	1	月2 414	鶴見昌代	ゲーム理論は、「多数の人々の間で相互依存関係のある状況における意思決定」を数理的に分析するものです。非協力ゲームと協力ゲームに分かれますが、この授業では両方を含み、数学的・論理的思考力を養います。	情報対象

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H570	障害補償技術論	2	3	選必	2	金1 414	坂尻正次	感覚器官における情報処理の仕組みと、感覚器官に障害が生じた場合の感覚代行技術を学ぶことを目的とする。まず初めに、視覚・聴覚・触覚等の感覚器官での情報処理や感覚の統合過程などを学習する。次に、視覚・聴覚等が損なわれた場合の感覚代行技術の歴史を紹介し、最新の研究成果についても学ぶこととする。	情報対象
	9H580	キャリアデザイン	1	3	選必	2	木2 414 Teams	竹下浩	具体的なキャリア計画を策定し、職務特定のスキルを分析ます。毎回の実践的な演習で、苦手スキルを減らし、得意スキルを増やします。結果、就職活動における競争力が強化出来ます。事務系職種志望者だけでなく、エンジニアにも役立ちます。	情報対象
	9H600	人工知能	2	3	選択	2	木5 414	松尾政輝 鶴見昌代 垣野内将貴	人工知能とは、計算機に人と同じような知的な処理を行わせる計算機科学の分野である。本講義は、知的な計算機システムを実現する様々な人工知能技術を、その歴史の初期から最近に至るまで紹介し、問題解決における探索や推論、知識獲得や学習、エージェントなどについて幅広く学習する。	情報対象
	9H610	ネットワーク工学1	2	3	選択	1	火5 414	非) 児島宏明	ネットワークを管理運用していくための技術や手法を学習する。本講義では、ネットワークシステムを構成する要素である各種アプリケーションサーバに注目する。特に、インターネットで必要な技術や各種サーバの構築・運用における基本的知識として、Linuxシステムの使用方法について紹介した後、DNS (Domain Name System)、電子メール、WWW (World Wide Web) サーバなどの構築手順および注意点について学習する。	情報対象
	9H620	ネットワーク工学2	2	3	選択	2		未定	ネットワークシステム管理技術1で学習した内容に加えて、インターネットで必要な技術や各種サーバの構築・運用における基本的知識について学習する。具体的には、PHP言語によるプログラミングを学習し、データベース、CMSサーバの構築手順および注意点について学習する。また、実際に、データベースサーバと連携するWebアプリケーションを設計し実装する。	情報対象

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H630	ヒューマンインタフェース1	2	3	選択	1	火2 414	宮城愛美	ヒューマンインタフェースとは人間と道具・機械の接点であり、道具・機械の使いやすさに大きく影響する。ヒューマンインタフェースの原則、理論、ガイドライン、評価方法、関連技術について、教科書を読み進めながら学習する。また、教科書の内容を議論、試行するためにグループワークを実施する。	情報対象
	9H640	ヒューマンインタフェース2	2	3	選択	2	木1 414	宮城愛美	Donald Normanの「複雑さと共に暮らす」を輪講して、ヒューマンインタフェースの考え方を議論する。身の回りの道具から巨大なシステムまで、社会におけるデザインに疑問を持ち、考察することを目的としている。毎回、同書籍を受講者で数ページずつ分担し、担当者は授業までにレジメを作成して、発表する。	情報対象
	9H650	ビジネスゲーム	2	3	選択	2	月3 414	嶋村幸仁 堀江則之 鶴見昌代 非) 門脇俊仁	担当教員の講義もとにビジネスゲームを行い、その成果をレポートと口頭で発表することができる。	情報対象
	9H660	オペレーションズ・リサーチ	2	3	必修	2	月2 414	鶴見昌代	オペレーションズ・リサーチとは、様々な問題に対して科学的なアプローチにより解決策提示を支援する技術の集まりです。この授業では、様々なオペレーションズ・リサーチの手法を学び、数学的・論理的に問題解決する方法を学びます。	情報対象
	9H700	システム開発1	2	3 又は 4	選必	1	金4 414	大西淳児	情報システムは、企業における業務、生産販売等のシステム、医療システムや組込みシステムなど無数にある。あらゆる分野に情報システムが利用されているのでその設計法が重要となる。システム設計とは利用者の要求にあったソフトウェアを作り上げる技術の全体のことである。システムの設計には一定の共通技術がある。この技術はほとんどのシステムにおいて普遍性がある。本科目では一般的な大規模システム開発を例に学習を進める。	情報対象

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H710	システム開発2	2	3 又は 4	選必	2	金3～5 不定期 414	大西淳児	組込システムは、IoT時代における家庭内の家電機器のネットワーク接続などにおいて多く存在する。あらゆる分野に情報システムが利用されているのでその設計法が重要となる。本科目では最近話題の組込みシステムを例に学習を進める。	情報対象
	9H720	情報セキュリティ	2	3 又は 4	選必	1	木4 414	岡本健	現在のICT社会において、情報漏えいやプライバシー侵害は、深刻な社会問題となっており、これらを安全に管理・運営するには、適切な情報セキュリティ対策が不可欠である。本講義では、「情報セキュリティ演習」と連携することにより、各種暗号方式やコンピュータセキュリティ、ネットワークセキュリティに関する体系的な学習を行う。これにより情報セキュリティ分野における基本的な概念、知識、技術を持つことを目指す。	情報対象
	9H730	情報セキュリティ演習	1	3 又は 4	選必	1	木5 414	岡本健	現在のICT社会において、情報漏えいやプライバシー侵害は、深刻な社会問題となっており、これらを安全に管理・運営するには、適切な情報セキュリティ対策が不可欠である。本演習では、「情報セキュリティ」と連携することにより、各種暗号方式やコンピュータセキュリティ、ネットワークセキュリティに関する体系的な学習を行う。これにより情報セキュリティ分野における基本的な概念、知識、技術を持つことを目指す。	情報対象
	9H740	経営戦略論1	2	3 又は 4	選必	1	月4 414	嶋村幸仁	経営戦略は企業経営における最も重要で中心的なテーマである。優れた経営戦略は複雑な経営環境を単純化させ誰にでも理解できるわかりやすい内容である。本講義では企業の経営戦略を具体的に学習し、経営戦略の基礎を理解する。理解を深めるために多くの事例研究を行う。経営戦略の立て方の基本と実際の企業の経営戦略をケース・スタディーとして取り上げ、理解度を深める。	情報対象
	9H750	経営戦略論2	2	3 又は 4	選必	2	月4 414	嶋村幸仁	経営戦略は企業経営における最も重要で中心的なテーマである。優れた経営戦略は複雑な経営環境を単純化させ誰にでも理解できるわかりやすい内容である。本講義では企業の経営戦略を具体的に学習し、経営戦略の応用を理解する。理解を深めるために多くの事例研究を行う。経営戦略論2では実際の企業の経営戦略をケース・スタディーとして取り上げ、理解度を深める。	情報対象

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H760	生産流通システム論1	2	3 又は 4	選必	1	月1 414	堀江則之	「経営・生産と生産管理体系」, 「生産のコンピュータ化」という観点から生産管理の基礎を学ぶ。さらに, 昨今の流通を取り巻く環境が劇的に変化している現状を踏まえ、小売業、卸売業、消費者、生産者等に代表されるトピックにより、流通システムについての基礎知識を学ぶ。	情報対象
	9H770	生産流通システム論2	2	3 又は 4	選必	2	水2 414	堀江則之	生産流通システム論1で学んだ基礎知識を踏まえた上で、生産管理システムの考え方について学ぶ。さらに、ロジスティクスに関する理論を概観することによって、流通システムについての理解を深める。	情報対象
	9H780	ビジネスデータ処理1	2	3 又は 4	選必	1	火1 414	堀江則之	経営企画や商品開発、営業や販売促進、調達や購買などに代表されるビジネスの現場では、実に多くのビジネスデータに溢れている。そして、これらのデータを利用した分析によって、様々な意思決定が行われている。こうした背景を踏まえ、本講義では、ビジネスデータ処理の基礎について学ぶ。	情報対象
	9H785	ビジネスデータ処理2	2	3 又は 4	選必	2	火1 414	堀江則之	本講義では、文系理系問わず、学ぶことの重要性が指摘されている統計について、ビジネスの観点から学ぶ。そして、ビジネスデータ処理についての理解を深めることによって、ビジネスの現場でのデータ活用能力の向上を目指す。	情報対象
	9H790	企業研究1	1	3 又は 4	選必	1	金1 414	堀江則之	本実習では、就職を取り巻く状況を鑑みながら、企業研究の方法、情報収集、分析、発表を通じて、企業研究の基礎を学ぶ。	情報対象
	9H795	企業研究2	1	3 又は 4	選必	2	月5 414	◎堀江則之 非)岡庭晃二	本実習では、企業比較研究の方法、情報収集、分析、発表を通じて、企業研究について理解を深める。	情報対象

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H800	システムプログラミング	2	3 又は 4	選択	1	水1 414	岡本健	プログラミング言語Pythonおよび各種ライブラリを使用することにより、小型コンピューターボードであるmicro:bit(マイクロビット)を操作する。また、教育用ロボットのmicro:Maqueen(マイクロマックイーン)を組み合わせることで、電子ボードの拡張方法について学習する。授業の最後では、ロボット競技を行い受講生の制御技能を競う。これらの取り組みにより、主に理論的な側面からプログラムを用いたハードウェアの制御方法を習得する。	情報対象
	9H810	システムプログラミング演習	1	3 又は 4	選択	1	水2 414	岡本健	プログラミング言語Pythonおよび各種ライブラリを使用することにより、小型コンピューターボードであるmicro:bit(マイクロビット)を操作する。また、教育用ロボットのmicro:Maqueen(マイクロマックイーン)を組み合わせることで、電子ボードの拡張方法について学習する。授業の最後では、ロボット競技を行い受講生の制御技能を競う。これらの取り組みにより、主に技能の側面からプログラムを用いたハードウェアの制御方法について演習する。	情報対象
	9H820	ネットワークプログラミング1	2	3 又は 4	選択	1	金2 414	大西淳児	Pythonを使ったソケット通信を含むネットワークプログラムの作成に必要な知識を学ぶ。	情報対象
	9H830	ネットワークプログラミング2	2	3 又は 4	選択	2	金2 414	大西淳児	ネットワーク通信における様々なサイバー攻撃手法の実演と体験を通じて、ネットワーク通信パケットの基本構造、および、ネットワーク通信の動作原理の詳細を理解する。	情報対象
	9H840	アルゴリズムとデータ構造	2	3 又は 4	選択	2	木3 414	松尾政輝	効率的なプログラミングの基礎となるアルゴリズムとデータ構造について学習する。アルゴリズムとは問題を解く典型的な手法であり、データ構造とはプログラムの中で問題を表現する技法であり、この二つがプログラミングの両輪をなす。本講義では、整列や探索、文字列処理、再帰的手法などの各種アルゴリズムを学びながら、最終的に論理的な思考と問題解決能力を高めることを目標とする。また、データ構造としてリスト構造と木構造を学習し、それらを用いてプログラミングする手法を学ぶ。	情報対象

専門教育系科目
(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H850	マルチメディア	2	3 又は 4	選択	通年	集中 436	鶴見昌代 垣野内将貴	(鶴見担当分) 映像コンテンツの制作を通して、マルチメディアデータの理解を深める。また、画像データと音声データについて理解を深め、基本的な分析手法を学ぶ。本科目は講義形式であるが、授業科目「マルチメディア演習」では映像制作などの実習を行う。 (垣野内担当分) PCで制作可能な音楽コンテンツ（多重録音、音楽編集、編曲など）を通じて、音楽に関係するコンテンツがどのような仕組みで制作されているかを把握し、演習の時間に制作にとりかかるための準備にあてる。本科目を講義形式で行い、授業科目「マルチメディア演習」で実際に曲や楽譜など、コンテンツの制作を行う。	情報対象
	9H860	マルチメディア演習	1	3 又は 4	選択	通年	集中 436	鶴見昌代 垣野内将貴	(鶴見担当分) 映像コンテンツの制作を通して、マルチメディアデータの理解を深める。また、画像データと音声データについて理解を深め、基本的な分析手法を学ぶ。授業科目「マルチメディア」は講義形式であるが、本授業では映像制作などの実習を行う。 (垣野内担当分) PCで制作可能な音楽コンテンツ（多重録音、音楽編集、編曲など）を通じて、音楽に関係するコンテンツがどのような仕組みで制作されているかを把握し、演習の時間に制作にとりかかるための準備にあてる。本科目を講義形式で行い、授業科目「マルチメディア演習」で実際に曲や楽譜など、コンテンツの制作を行う。	情報対象
	9H870	デジタル信号処理	2	3 又は 4	選必	1	月3 414	小林真	デジタル信号解析において重要なフーリエ変換について、三角関数の基礎から学習する。適宜コンピュータを利用しながら、フーリエ変換と高速フーリエ変換の実装について理解する。	情報対象 令和2年度以前 入学者は「選択」

専門教育系科目
(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H880	認識工学	2	3 又は 4	選必	2	水1 414	関田 巖	パターン認識の基礎的な知識と、代表的な手法の原理を学ぶ。講義中心であるが、Pythonによるプログラム作成を通して、理解が深まることを目指す。Python環境と数式の表現のために、Google Colaboratoryを利用する。線形識別関数は、多変量解析で修得されていることを前提とする。ニューラルネットワークは「機械学習」で学ぶため、ここでは取り扱わない。数学的な知識は、予習と復習時に身につけることを基本とする。	情報対象 令和2年度以前 入学者は「選 択」
	9H890	機械学習	2	3 又は 4	選択	1	火4 436	関田 巖	主にニューラルネットワークを利用したアルゴリズムとその応用例を学ぶ。ニューラルネットワークの各過程で、しばしば用いられるデータ処理方法についても学ぶ。Pythonプログラムを作成することで、機械学習を体験しながら理解を深め、自分でプログラム開発ができるようになることを目指す。PythonのプログラムやLatexによる数式のプレビューでは、Google Colaboratoryを利用し、Moodleからのリンクを提供する。Google Colaboratoryを使いにくい学生は、説明文がコメントになっているPythonプログラムをダウンロード可能とするので、それを用いて各自の環境で把握と理解を進める。行列やベクトルの演算についてある程度慣れていることを前提に、Latexの数式のプレビュー画面またはLatexの数式を用いて説明する。	情報対象
	9H900	Webデータ解析1	2	3 又は 4	必修	1	木3 436	巽久行	Webデータ収集・解析のための基礎技術であるHTTP、XMLなどについて学修し、Unixコマンドを使ってデータの収集手法について修得する。また、より高度なデータ解析を可能にするためにPythonプログラムの基礎から解説する。Webデータ解析2では、Pythonプログラムを使った実践的なWebデータ収集・解析について学修する。	情報対象
	9H910	Webデータ解析2	2	3 又は 4	選必	2			Pythonプログラムを使った実践的なWebデータ収集・解析について学修する。Web上の様々なデータを取得・解析し、結果をわかりやすく表示する手法を学修する。	情報対象 令和7年度開講 せず

専門教育系科目

(6) 専門情報システム教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
専門情報システム教育科目	9H920	マーケティング論1	2	4	選必	1	月5 436	嶋村幸仁	本授業では最新のマーケティング基本理論を学習する。マーケティングの基本概念、戦略的マーケティング、製品・価格・広告・サプライチェーンなどのマネジメントについても基礎から最新理論まで学習する。	情報対象
	9H930	マーケティング論2	2	4	選必	2	月3 436	嶋村幸仁	本授業では最新のマーケティング応用理論を学習する。営業から製品開発、マーケティング、管理への流れと仕組みの構築を学び、欲しがる営業マーケティングと仕組みづくりについて学習する。	情報対象
	9H940	総合情報システム 特別実習C	2	4	選必	1	集中 学外	情報システム 学科全教員	担当教員の指導の下、企業や国立研究機関等での実習を行う。事前準備・実習・報告レポート作成などの実務経験を通じて、職場で必要となる各仕事における基本知識の獲得と実務経験の習得を目指す。あわせて自らの障害に対する補償技術の実社会における有効性や可能性を評価し、確認する。	情報対象
	9H950	総合情報システム 特別研究1	3	4	必修	1	水3～5 他 436 指導教員 研究室	情報システム 学科全教員	教員の指導のもとに研究を行い、研究成果を論文形式にまとめ、□頭で発表する。	情報対象
	9H960	総合情報システム 特別研究2	3	4	必修	2	水3～5 他 436 指導教員 研究室	情報システム 学科全教員	教員の指導のもとに研究を行い、研究成果を論文形式にまとめ、□頭で発表する。	情報対象